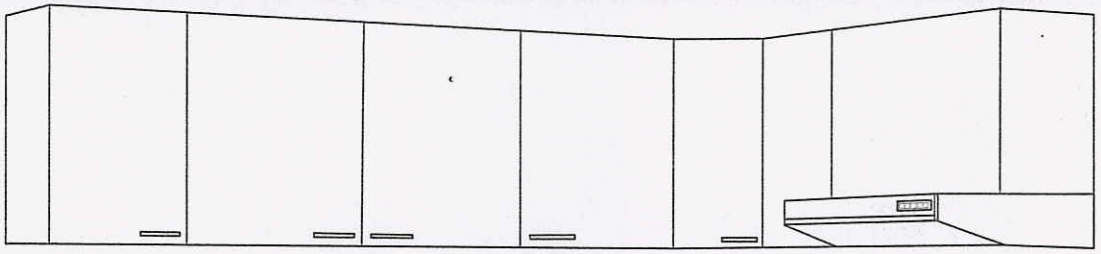
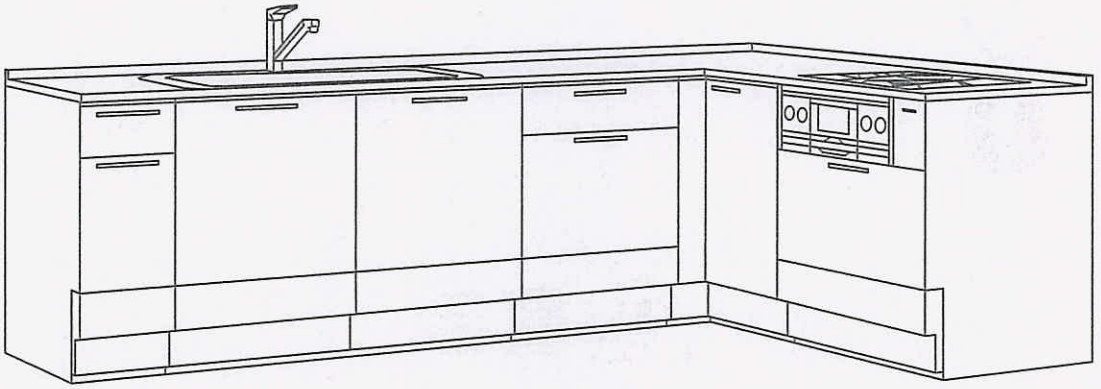
タカラ ホーローシステムキッチン 設置説明書





もくじ

ページ数

1．設置される方へのお願い……1
2．安全上のご注意……2～3
3．設置前のご確認……3
4．設置方法……4～31
5．仕上げ……32
6．安全点検および試運転……32
7．お願い事項……32

1．設置される方へのお願い

●キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい設置を行ってください。

●本説明書は、ワークトップおよびフロアキャビネットのものです。その他のキャビネットやビルトイン機器は、それぞれに添付する設置説明書をご覧いただき、正しい設置を行ってください。

●ワークトップ高さが820・850㎜以外の場合は、台輪スペーサーに付属の設置説明書を合わせてお読みください。

●ビルトインされる機器類および水栓金具については、それぞれの設置説明書にしたがって正しい設置を行ってください。

●設置完了後、試運転および各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

●本体に同梱されている取扱説明書等は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れのないように保管し、設置完了後、お客様にお渡しください。

2. 安全上のご注意

必ずお守りください。

設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

●表示内容を無視して誤った設置作業をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

ステンレス製ワークトップやシンクを取り扱うときは、必ず保護手袋をしてください。

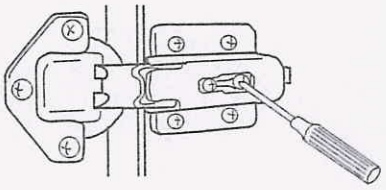
手袋をしないで切断面に触ると、けがをするおそれがあります。

電気工事、ガス工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。

接続や固定が不完全な場合は、火災、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

⚠注意

設置完了後は、扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。



扉の取付に異常があると、使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。

設置に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品については、それぞれの注意表示にしてがって、正しくお使いください。

誤った使い方をすると、人体に影響がでたり使用部材の損傷や劣化の原因となるおそれがあります。

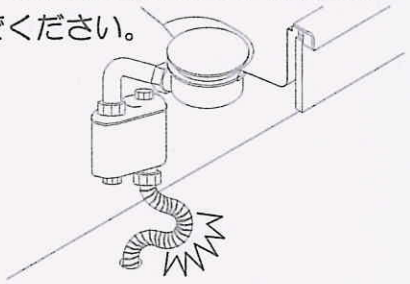
排水器具・排水ホースの取付けおよび接続部分のシールは確実に行ってください。

取付けやシールが不十分な場合は、水が漏れたり湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

包丁差しを取付ける時は、ネジのゆるみや浮きのないよう、正しく取付けてください。

取付方法を誤ると、使用中に包丁差しがはずれてけがをするおそれがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



排水能力が低下して、シンクから水があふれ床を汚すおそれがあります。

キッチンに組込まれる電気製品・調理機器・レンジフード・および水栓金具等は、それぞれの設置説明書・製品本体の表示事項を守り正しく設置してください。

設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になるおそれがあります。

棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。

棚受けがはずれ、食器などが落下してけがをするおそれががあります。

快適にご使用いただくために必ずお守りください。

設置途中で製品を仮置きする場合は、ダンボールをひく等の養生を施し、キズがつかないよう十分注意してください。

設置作業中、キャビネットや扉にドライバー、金づち等の固いものを当てたり落としたりしないように十分注意してください。

汚れを取る場合は水ぶきまたは中性洗剤をご使用ください。溶剤系統の薬品や漂白剤等は絶対使用しないでください。表面が侵されるおそれがあります。

3. 設置前のご確認

●注文した製品が納入されているか確認してください。
●設置する場所の直角・水平レベルを確認してください。
●設置する場所の両端が壁の場合、壁間の寸法がワークトップ間口より6～7mm以上長いことを確認してください。
●下記の項目についてその位置を確認してください。
（1）給水給湯管・排水管位置
（2）建築側のガス管・電気配線接続位置
（3）レンジフードの排気口位置
（4）機器類の電気配線位置
●ガス種、電圧（100V、200V）、周波数（50Hz、60Hz）を確認してください。
●オプション水栓については、付属の説明書をお読みください。

4. 設置方法

下記の手順にしたがって設置作業を進めてください。

1. 台輪スペーサーの取付 → 2. 吊戸棚・レンジフードの取付 → 3. エンドカバーの取付 →
4. ベースキャビネット設置前の準備作業 → 5. 間口調整フィラーの取付 →
6. ベースキャビネットの設置 → 7. 水栓の取付 → 8. ワークトップの設置 →
9. 加熱機器の設置 → 10. スペーサーキャビネットの設置 → 11. 食器洗い乾燥機の設置 →
12. 排水蓋・点検口蓋の穴加工 → 13. 排水部品の取付 → 14. 排水管の接続 →
15. 給水･給湯管と水栓の接続 → 16. エンドパネルの取付 → 17. その他部品の取付 → 18. 扉の調整

1. 台輪スペーサーの取付（ワークトップ高さ820・850㎜以外の場合のみ）

台輪スペーサーに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

2. 吊戸棚・レンジフードの取付

吊戸棚の取付は、シンクキャビネットに付属の設置説明書にしたがって行ってください。
レンジフードの取付は、レンジフードに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

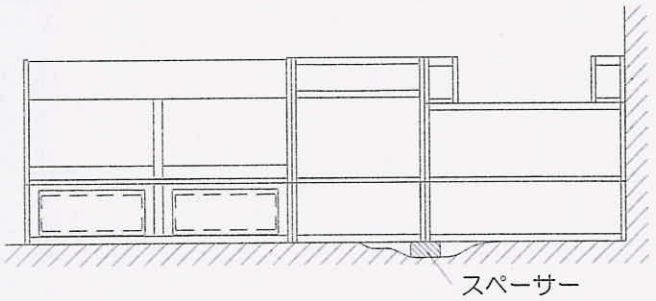
3. エンドカバーの取付（エンドカバーを取付ける場合のみ）

エンドカバーに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

4. ベースキャビネット設置前の準備作業

【1. 床面のレベル出し】

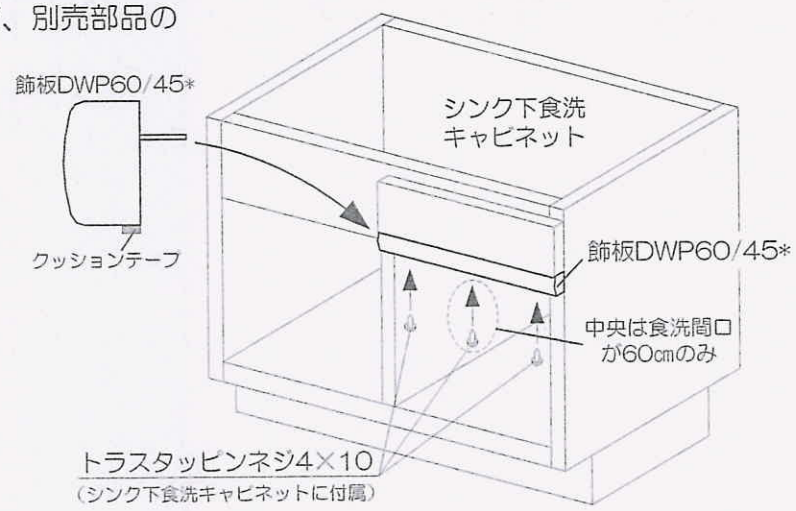
キャビネットを仮置きし、床面のレベルが出ていない場合は、床とキャビネットの間に適当なスペーサーを入れてレベルを調整してください。



【2. 飾板DWP60/45*の取付】（シンク下食洗キャビネットの場合のみ）

シンク下食洗キャビネットに付属のネジで、別売部品の飾板DWP60/45*を取付けてください。

注）飾板DWP60/45*は、食器洗い乾燥機設置後には取付できません。必ず食器洗い乾燥機設置前に取付けてください。



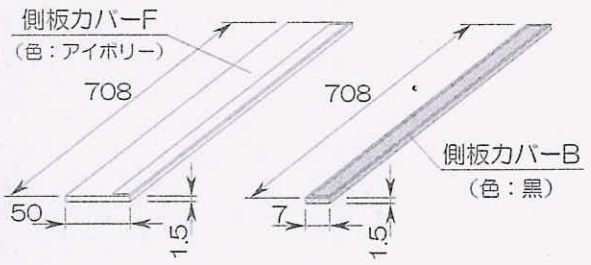
【3. 側板カバーの貼付】

「足元スライドタイプ」の台輪部の引出をあけると、隣接する「扉・スライドタイプ」の側面部が露出します。その側面を化粧するため、「足元スライドタイプ」と「扉・スライドタイプ」が隣接する箇所に側板カバーを貼付けてください。

注）●側板カバーは寸法・色違いで2種類あります。
下表を参照して使い分けてください。

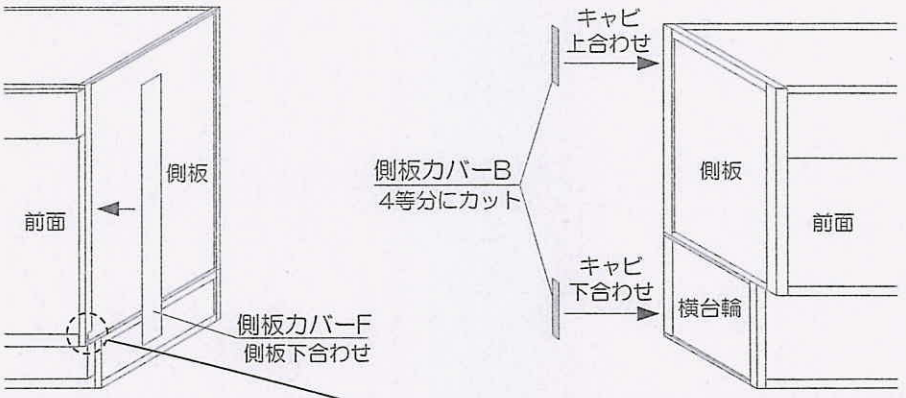
種類	幅寸法	色	使用箇所
側板カバーF	50㎜	アイボリー	キャビネット前側
側板カバーB	7㎜	黒	キャビネット後側

●後側に貼付ける側板カバーBは、4等分して貼付けてください。（約180㎜）



＜シンク下食洗キャビネット（F-MR･MS･RR135～90X～）の場合＞

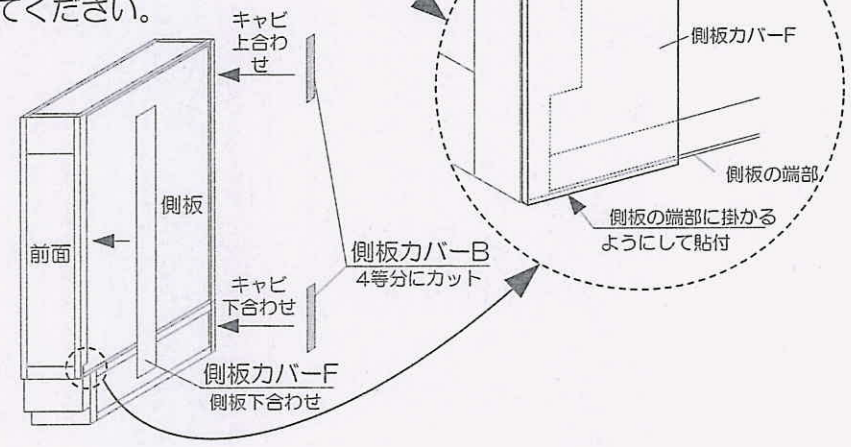
シンク下食洗キャビネットと、それに隣接するキャビネットに側板カバーを貼付けてください。



＜調理キャビネットの場合＞

キャビネットに側板カバーを貼付けてください。

注）ビルトインレンジやトールユニットが隣接する場合は側板カバーは不要です。



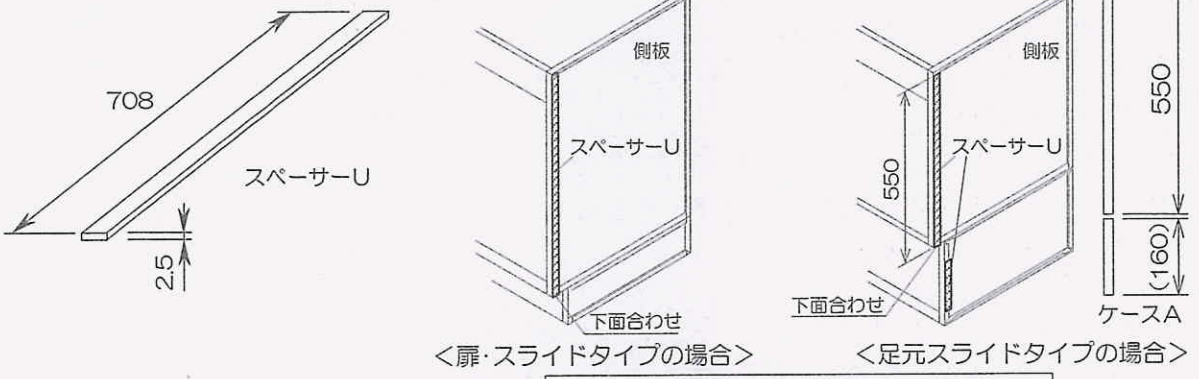
【4. スペーサーU（間口調整用）の貼付】

仮置きしたキャビネット間口を測定し、ワークトップ間口との差に合わせてスペーサーU（t2.5㎜）をキャビネットに貼付けます。

注）●ビルトインレンジおよび食器洗い乾燥機と隣接する箇所には貼付けないでください。
●コンロキャビネットと他のキャビネットの間に貼付ける場合は、コンロキャビネット側に貼付けてください。

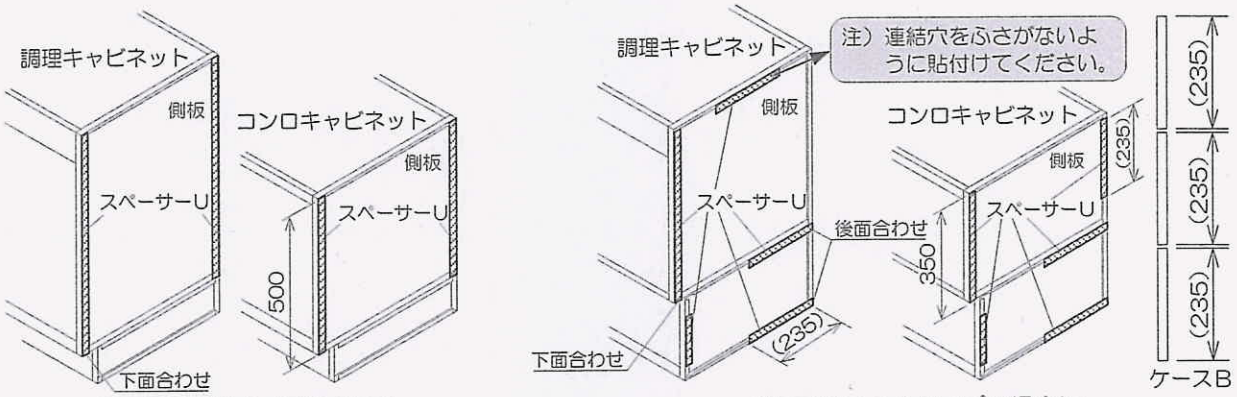
① クローズ側のセット端の側板に１枚（手前のみ）貼付けてください。
足元スライドタイプの場合は、「ケースA」のようにカットして貼付けてください。

② ①でも足りない場合、キャビネット間の側板に２枚貼付けてください。
足元スライドタイプの場合は、「ケースA（手前側）」および「ケースB（後側）」のようにカットして貼付けてください。



<扉･スライドタイプの場合>　<足元スライドタイプの場合>

①クローズ側のセット端に貼付ける場合



<扉･スライドタイプの場合>　<足元スライドタイプの場合>

②キャビネット間に貼付ける場合

5. 間口調整フィラーの取付

フィラーに付属の設置説明書にしたがって取付けてください。

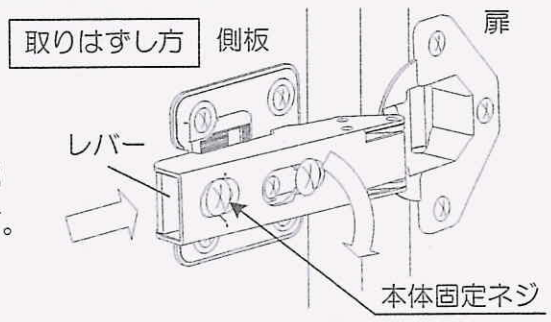
6. ベースキャビネットの設置

【1. 扉・引出・飾板の取りはずし】

<扉>

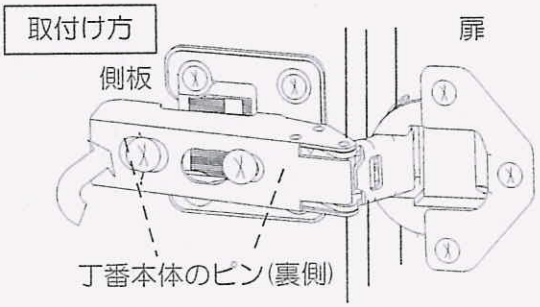
①取りはずし方

丁番プレート後部のレバーを持ち上げながら丁番本体前部を引き上げると，丁番本体が丁番プレートからはずれます。
※扉を全開して上記作業を行うと簡単にはずれます。



②取付け方

丁番本体前部のピンを丁番プレート前部のツメに引っ掛け、丁番本体を丁番プレートにかぶせるようにしてカチッと音がするまで押し込んでください。

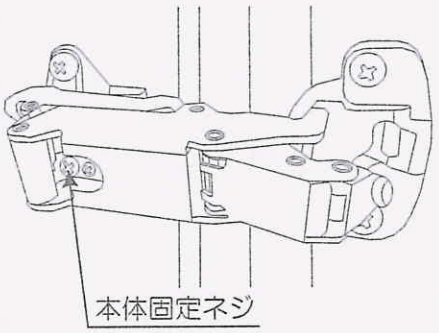


＜コーナーキャビネットの扉が140°開きの場合＞

①取りはずし方

本体固定ネジをゆるめ、扉を手前に引いてとりはずしてください。

注）本体固定ネジははずさないでください。

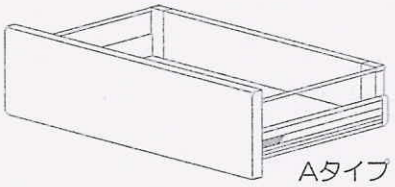


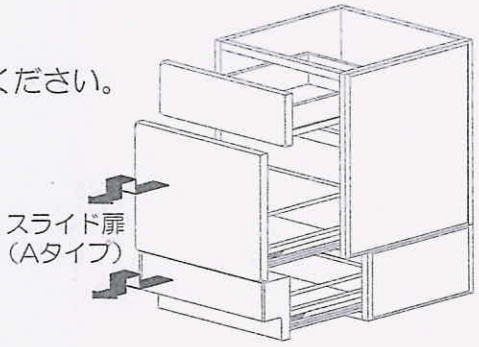
②取付け方

取りはずし方の逆の要領で、丁番本体を本体固定ネジに差込み、本体固定ネジを締め付けてください。

＜スライド扉（Aタイプ）＞

引き出した状態で、少し上に持ち上げて引いてください。



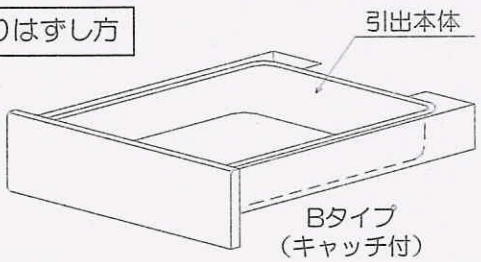


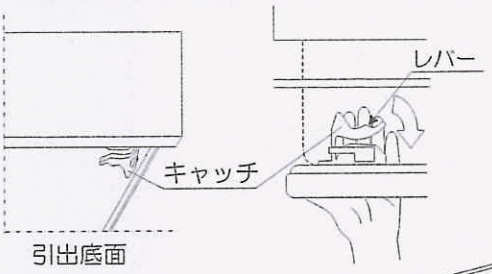
＜スライド扉（Bタイプ）＞

①取りはずし方

引き出した状態で、底板裏面の左右のレバーを握りながら手前に引いて取りはずしてください。

取りはずし方



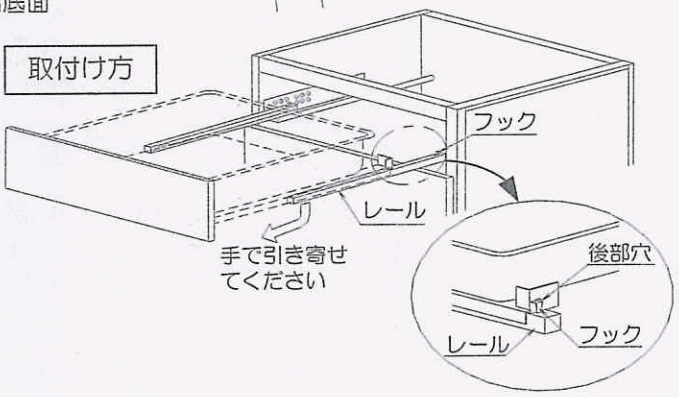


②取付け方

キャビネット側のレールを手前に引き出し、その上に引出をのせて、左右のレールを「カチッ」と音が鳴るまで手で引き寄せてください。

このとき、レール側面の穴に左右レバーの爪がしっかり掛かっていることと、レール奥側のフックが引出後部穴に確実に入っていることを確認してから引出を閉めてください。

取付け方

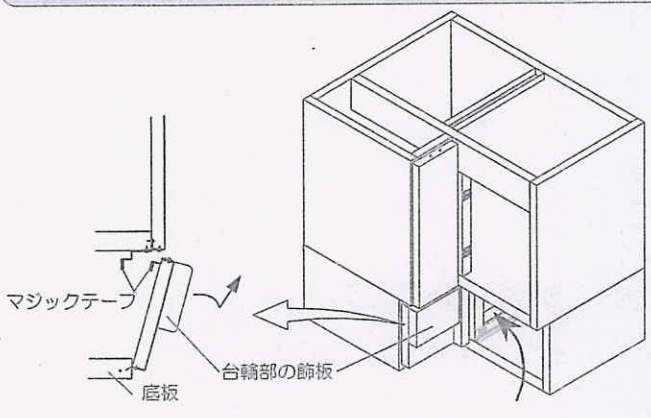


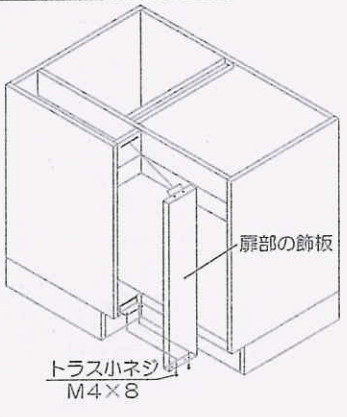
＜コーナーキャビネットの飾板＞

①足元スライドタイプの台輪部の飾板は、マジックテープで固定しています。台輪部のスライド扉をはずした状態で奥に手を回し、手前に押し出すようにして取りはずしてください。

②扉部の飾板は、下部のネジをはずして取りはずしてください。

注）取りはずしたネジは、元に戻しますので無くさないようにしてください。

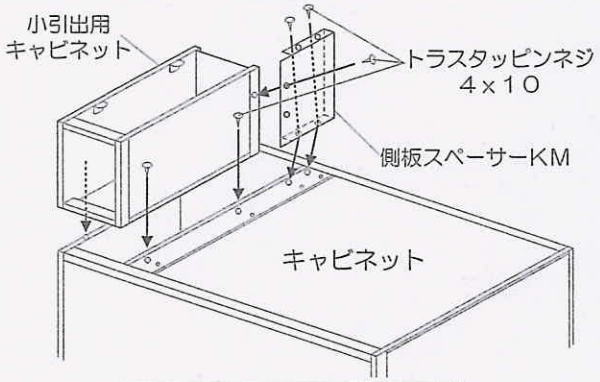




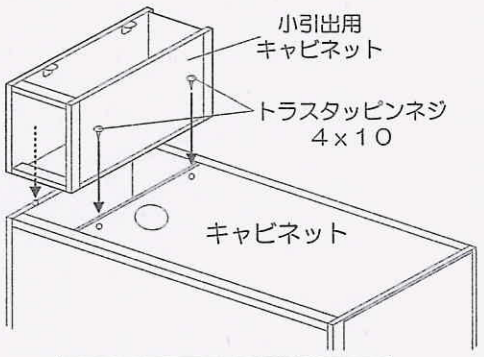
＜15間口調理キャビネットのスライド扉＞
キャビネットに付属の取扱説明書を参照してください。

＜コーナーキャビネット（スライド網カゴタイプ）のスライド扉＞
キャビネットに付属の取扱説明書を参照してください。

【2. 90・75間口コンロキャビネットの組立】
①キャビネット上面に小引出用キャビネットをネジ４本で取付けてください。
②側板スペーサーKMをネジ３本で小引出キャビネットの中央側に取付けてください。
（奥行615㎜タイプの場合のみ）



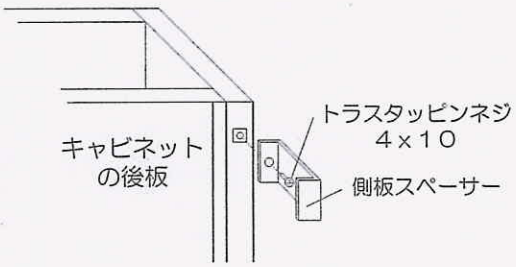
奥行615㎜タイプの場合



奥行516㎜タイプの場合

【3. 側板スペーサーの取付】
前倒れ防止金具を取付けない奥行516キャビネットには、
片側の側板に側板スペーサーを取付けてください。

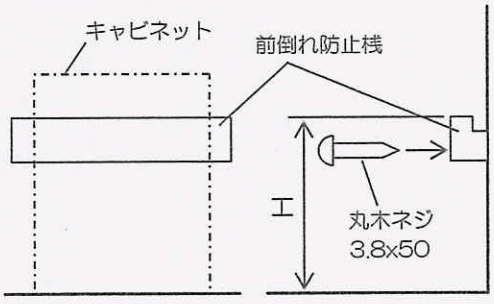
注）エンドパネルやエンドカバーを取付けるキャビネットには取付不要です。



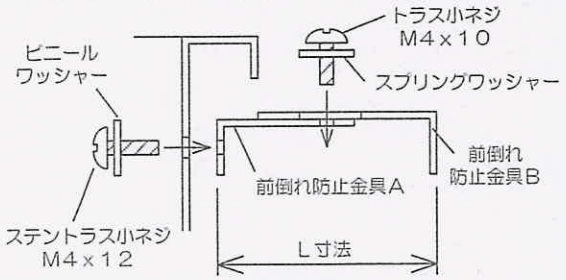
【4. 前倒れ防止作業】
＜奥行516㎜のスライド・足元スライドタイプのコンロキャビネットの場合＞
①後壁面に前倒れ防止桟をネジで取付けてください。

注）●ワークトップ高さによって取付高さが異なります。
●セットの外側にはみ出さないようにしてください。
●前倒れ防止桟はシンクキャビネット側にはみ出さないようにしてください。

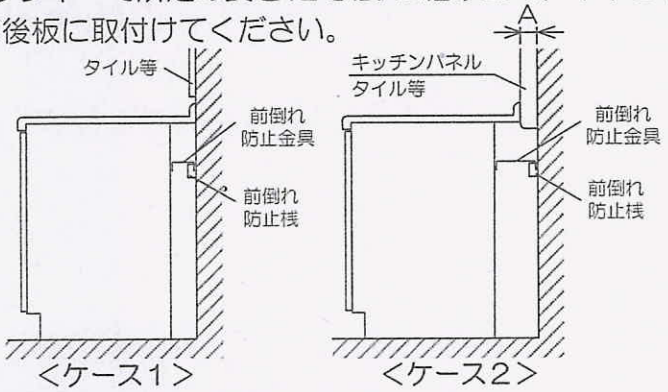
ワークトップ高さ（㎜）	900	850	820
H（㎜）	565	515	486



②前倒れ防止金具のA・Bをネジとスプリングワッシャーで所定の長さ(L寸法)に組み立て、キャビネット内部よりビニルワッシャーを介してネジで後板に取付けてください。



例	L寸法
ケース1	117
ケース2	117+A寸法

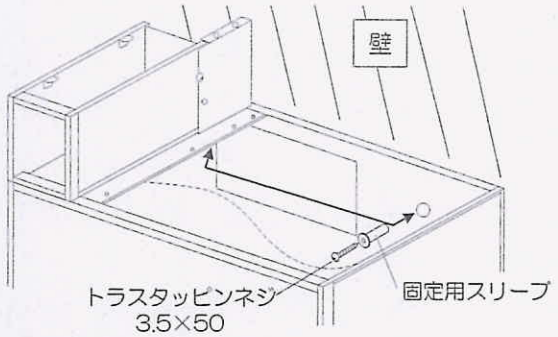


注）壁面のゆがみ等で微調整が必要です。

③前倒れ防止桟に前倒れ防止金具を引っ掛けるようにキャビネットを設置してください。

＜奥行615㎜のコンロキャビネットの場合＞

後板の穴から、固定用スリーブを介して壁面にネジで固定してください。

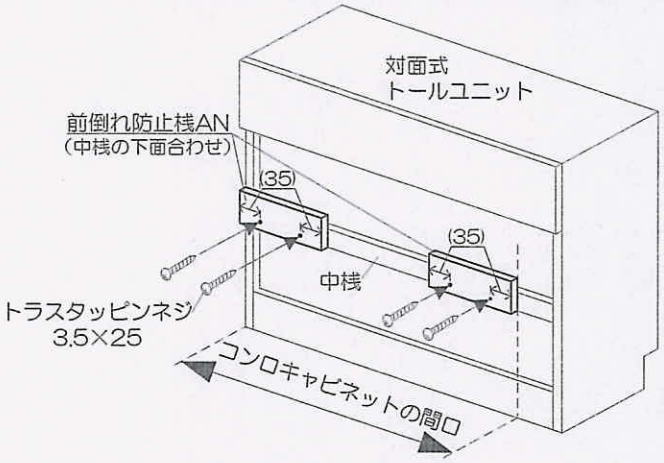


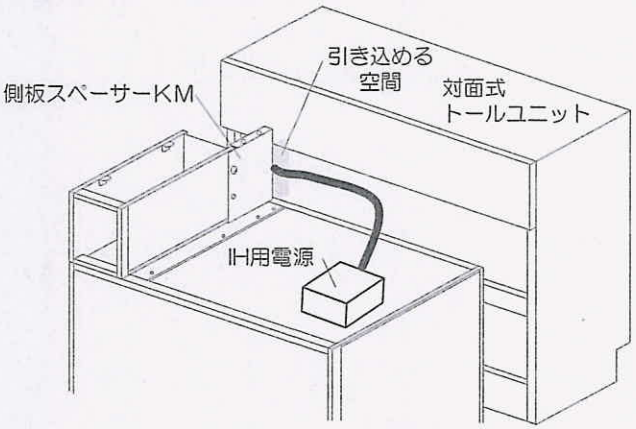
◎後面に対面式トールユニットが設置される場合

①前倒れ防止桟ANを半分にカットして、トールユニットの背面にネジで取付けてください。

②コンロがIHの場合は、横壁から出ているIH用電源を側板スペーサーKMと対面トールユニットの隙間から引き込んで、キャビネットを固定してください。

注）IH用電源はキャビネット固定後には引き込めませんので、必ず先に引き込んでください。





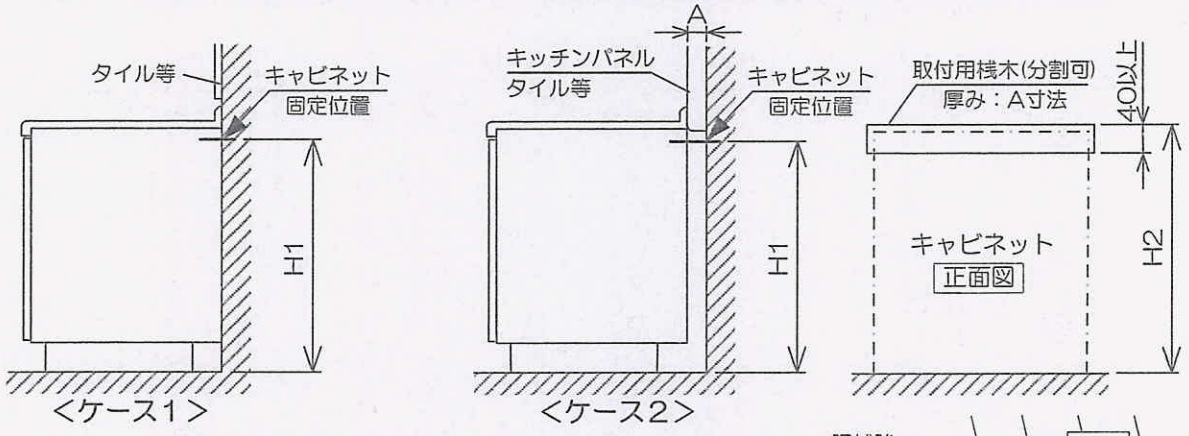
＜奥行615㎜のコンロキャビネット以外の場合＞

①取付用桟木の取付（下図ケース2の場合のみ）

キャビネットが設置される奥壁部に取付用桟木（ケース2のA寸法に合わせた木質材：現場手配）を皿ネジ等（頭が出ないもの）で取付けてください。

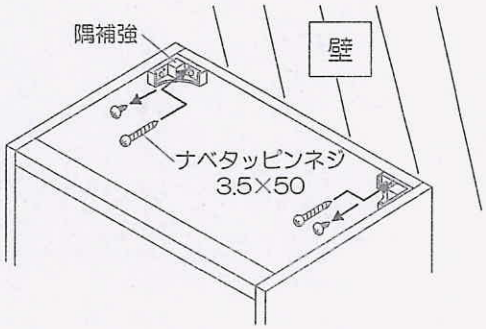
	ワークトップ高さ（㎜）		
	900	850	820
H1（㎜）	865	815	786
H2（㎜）	885	835	806

注）●ワークトップ高さによって取付高さが異なります。
●セットの外側にはみ出さないようにしてください。
●取付用桟木のネジ打ちは後壁の桟木のある所に行ってください。



②キャビネット奥側の隅補強を止めているネジ2本をはずして、そのネジ穴から壁面へネジで固定してください。

注）窓下用キッチンパネルがネジ打ち位置にかぶる場合は、キッチンパネルに穴加工して防錆処理を行ってからネジで固定してください。



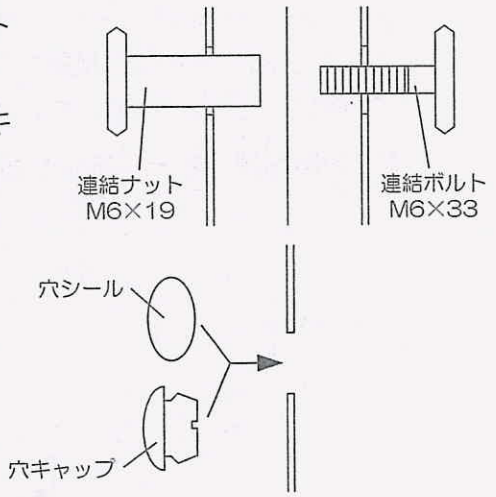
【5. キャビネットの連結】

注）●下部の連結はキャビネット間にスキ間があかないようにするために行ないます。
連結するキャビネットを密着させた状態で軽く締め付けてください。
強く締め付けすぎるとキャビネットが変形し、引出の開閉が重くなるおそれがあります。
●電気ドライバーは使用しないでください。
●設置完了後に引出の開閉を確認して、重いようであれば下部の連結を緩めて調整してください。

①キャビネットの側板および横台輪の連結穴より、連結ボルト連結ナットで隣接するキャビネットを連結してください。

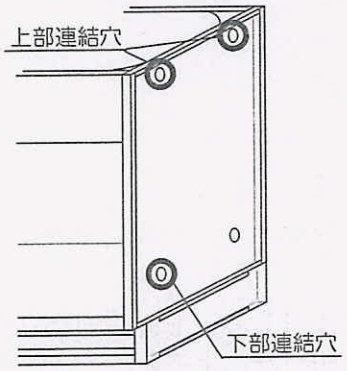
②連結後、使用していない下部連結穴には穴シールまたは穴キャップを取付けてください。

注）足元スライドタイプの台輪部への穴シールまたは穴キャップの取付は不要です。

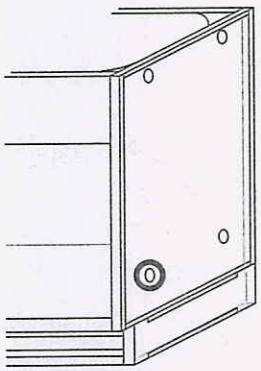


＜扉タイプ・スライドタイプ同士の連結＞

側板の上部連結穴および下部連結穴を使用して連結してください。



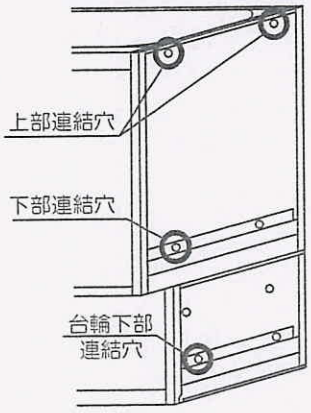
＜シンク・調理キャビネットとの連結＞



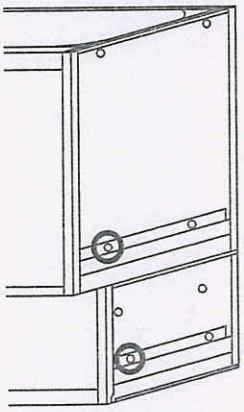
〈コンロキャビネット
食器洗い乾燥機キャビネット〉との連結

＜足元スライドタイプ同士の連結＞

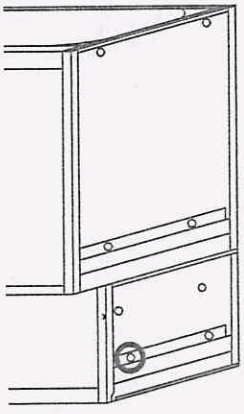
側板の上部連結穴、下部連結穴および台輪下部連結穴を使用して連結してください。



＜シンク・調理キャビネットとの連結＞



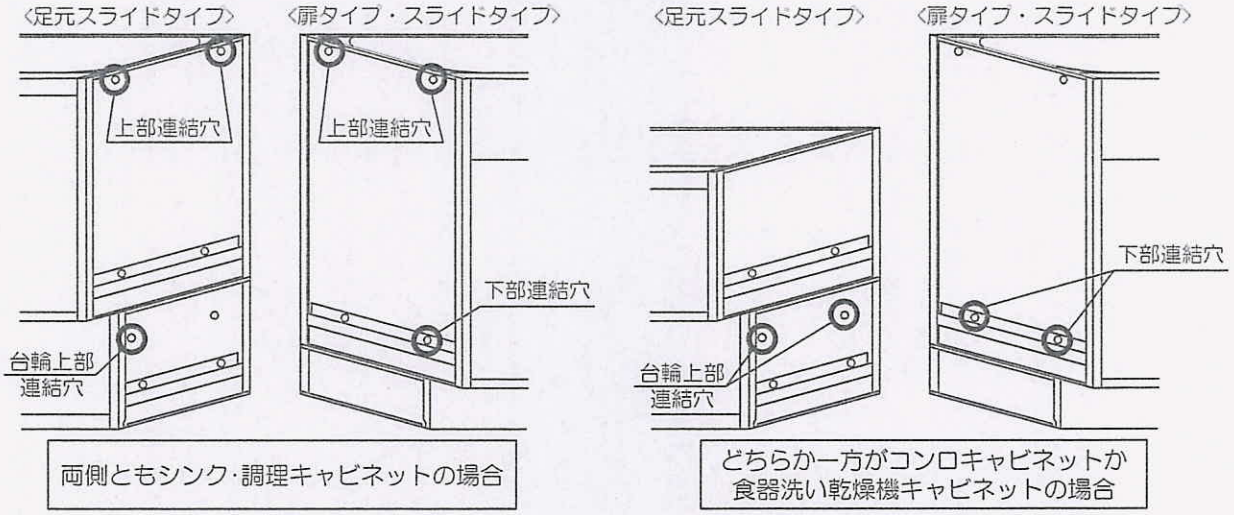
＜コンロキャビネットとの連結＞



＜食器洗い乾燥機キャビネットとの連結＞

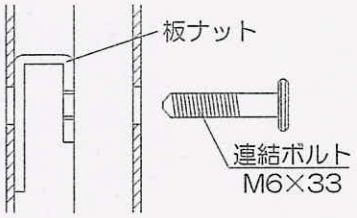
＜扉タイプ・スライドタイプと足元スライドタイプとの連結＞

側板および横台輪の連結穴を使用して連結してください。



＜コーナーキャビネット（スライド網カゴタイプ）の扉側の連結＞

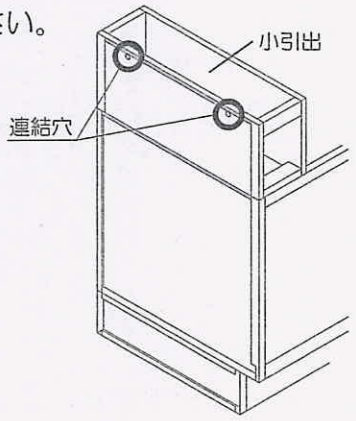
下部の連結は、隣接するキャビネットから連結ボルトで
側板の板ナットと連結してくさい。
（連結ナットは使用しません。）

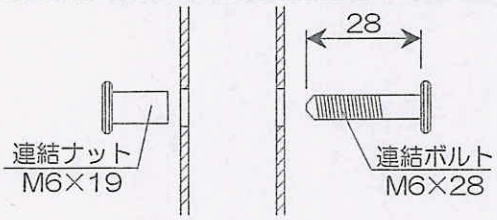


〈 １５間口調理キャビネットを連結する場合
食器洗い乾燥機用キャビネット（F-DWP45）を連結する場合
９０･７５間口コンロキャビネットの小引出側にキャビネットを連結する場合 〉

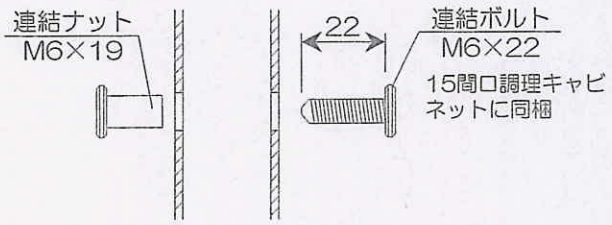
上記キャビネットに付属の連結ボルトを用いて、同様に連結してください。

注）●連結ボルトは必ずそれぞれのキャビネットに付属のものを使用してください。他のキャビネットに付属の連結ボルトとは長さが異なります。
●コンロキャビネットの小引出部以外の連結位置は、他のキャビネットと同じです。





以下の場合は、15間口調理キャビネットに付属の連結ボルトを用いて、同様に連結してください。
・15間口調理キャビネットと食器洗い乾燥機用キャビネットを連結する場合
・15間口調理キャビネットとコンロキャビネットの小引出側とを連結する場合



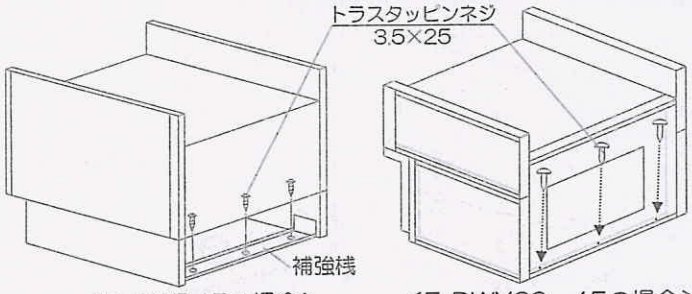
【6. 引出ユニットの設置】

引出ユニットに付属の設置説明書にしたがって行ってください。

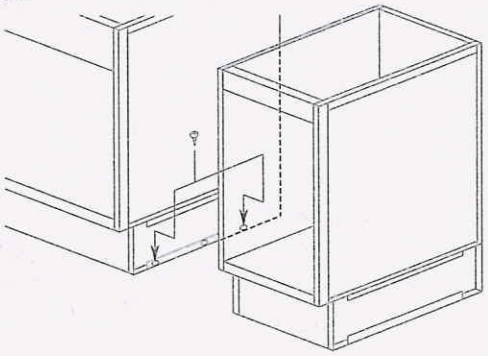
【7. キャビネットの床固定】

①食器洗い乾燥機用キャビネットの場合、補強桟または後板よりネジで固定してください。

②ビルトインレンジ、引出ユニットおよび中抜き部に隣接するキャビネットおよびオープン側に設置されるキャビネットの場合は、横台輪の穴より床面にネジで固定してください。



<F-DWP45の場合>　<F-DWX60・45の場合>



【8. ビルトインレンジの設置】

キャビネットの設置と同時に、所定の位置に器具本体を設置してください。

【9. 奥行６１５㎜コンロキャビネットのガス配管用の穴加工】

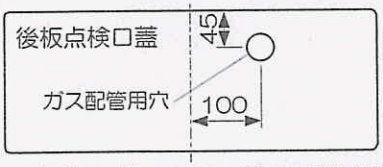
<ガス配管が後壁出しの場合>

①右図を参照して、ガス配管位置を確認してください。

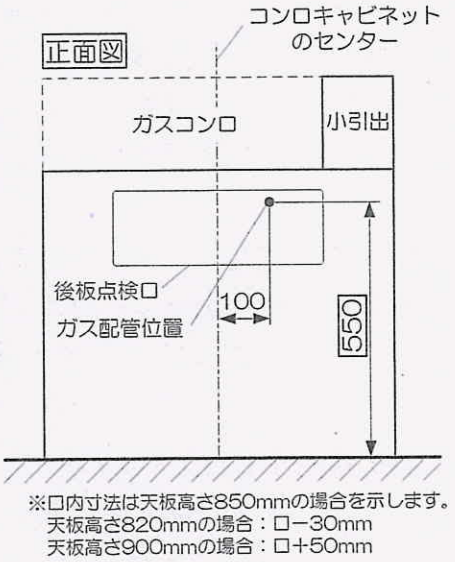
注）ガス配管位置が低過ぎると、引出や収納物に干渉する恐れがあります。低すぎる場合は、配管をやりなおしてください。

②後板点検口蓋にガス配管が通る大きさの穴を加工してください。

注）下図の穴位置は、ガス配管が右図の位置にある場合を示しています。ガス配管位置がズレている場合は配管位置に合わせて穴を加工してください。



③後板点検口蓋の穴にガス配管を通し、後板点検口蓋を蓋の突起でキャビネットに取付けてください。



※口内寸法は天板高さ850mmの場合を示します。
天板高さ820mmの場合：口−30mm
天板高さ900mmの場合：口+50mm

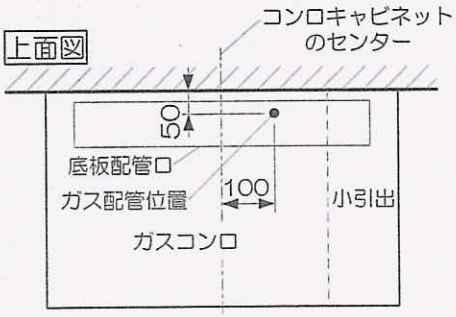
<ガス配管が床出しの場合>

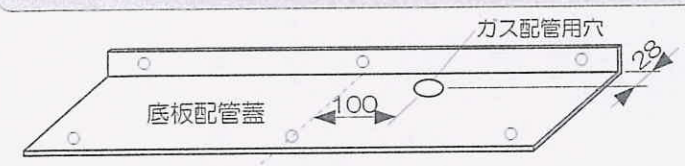
①右図を参照して、ガス配管位置を確認してください。

注）ガス配管位置が手前過ぎると、引出に干渉する恐れがあります。手前過ぎる場合は配管をやりなおしてください。

②底板配管蓋にガス配管が通る大きさの穴を加工してください。

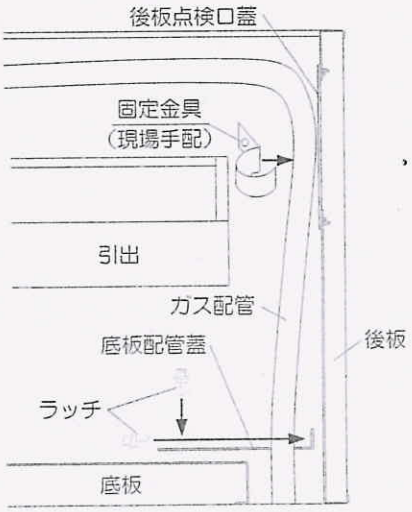
注）下図の穴位置は、ガス配管が右図の位置にある場合を示しています。ガス配管位置がズレている場合は配管位置に合わせて穴を加工してください。





③底板配管蓋の穴にガス配管を通し、底板配管蓋をラッチでキャビネットに取付けてください。

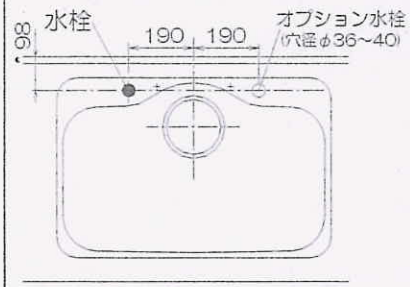
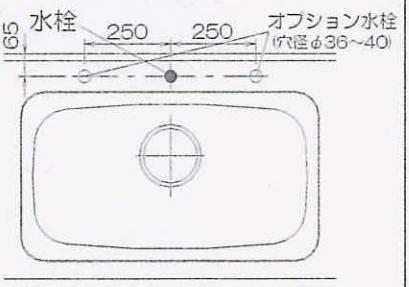
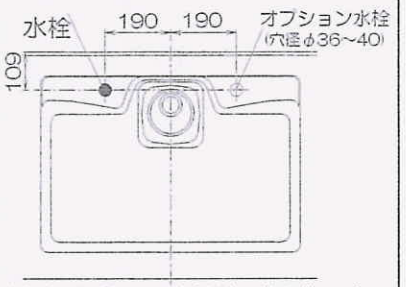
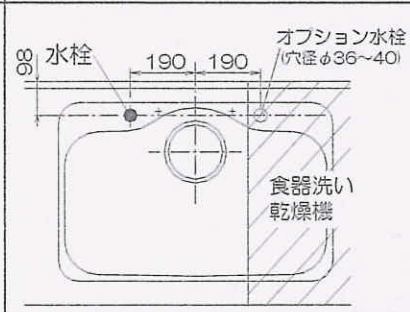
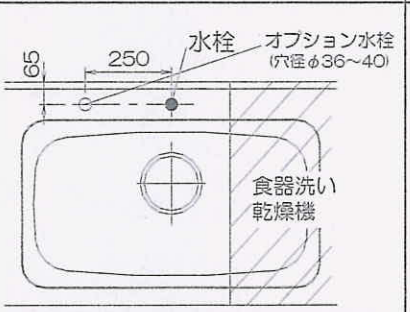
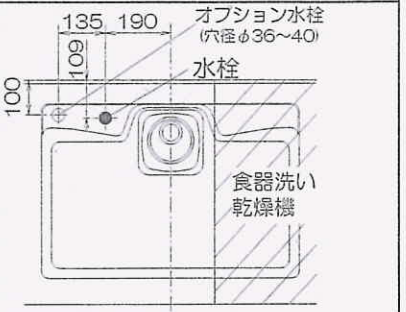
④ガス配管がフレキ管の場合、引出や収納物との干渉を防ぐため、ガス配管を後板点検口蓋に固定してください。



7. 水栓の取付

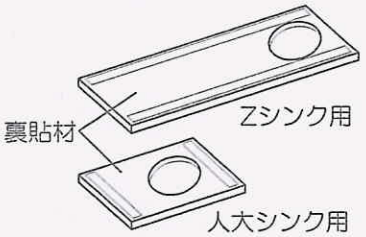
①水栓穴の加工

オプション水栓（アルカリ整水器、浄水器専用水栓）を取付ける場合は、下図にしたがってワークトップの所定の位置に穴加工を行ってください。（●印：穴加工は不要　　○印：現場で穴加工）

	Zシンク	Y/Sシンク	人大シンク
シンク横食洗の場合 標準（食洗無し）の場合	 水栓とオプション水栓は入替可能です。水栓のみ取付けの場合は左右どちらでも設置可能です。	 オプション水栓は左右どちらでも設置可能です。	 水栓とオプション水栓は入替可能です。水栓のみ取付けの場合は左右どちらでも設置可能です。
シンク下食洗の場合	 本図は食器洗い乾燥機が右側の場合です。左側にくる場合は本図と対称になります。	 本図は食器洗い乾燥機が右側の場合です。左側にくる場合は本図と対称になります。	 本図は食器洗い乾燥機が右側の場合です。左側にくる場合は本図と対称になります。

②裏貼材の貼付

Zシンクおよび人大シンクの場合は、加工した穴に合わせて別売部品の裏貼材をシンクの裏面に貼付けてください。



③水栓およびオプション水栓（アルカリ整水器・浄水器専用水栓）は、それぞれに付属の取付説明書にしたがって取付けてください。

注）Zシンクと人大シンクでシンク下食洗の場合、オプション水栓と食器洗い乾燥機が干渉して設置しにくい場合があります。その場合は以下の要領で取付を行ってください。

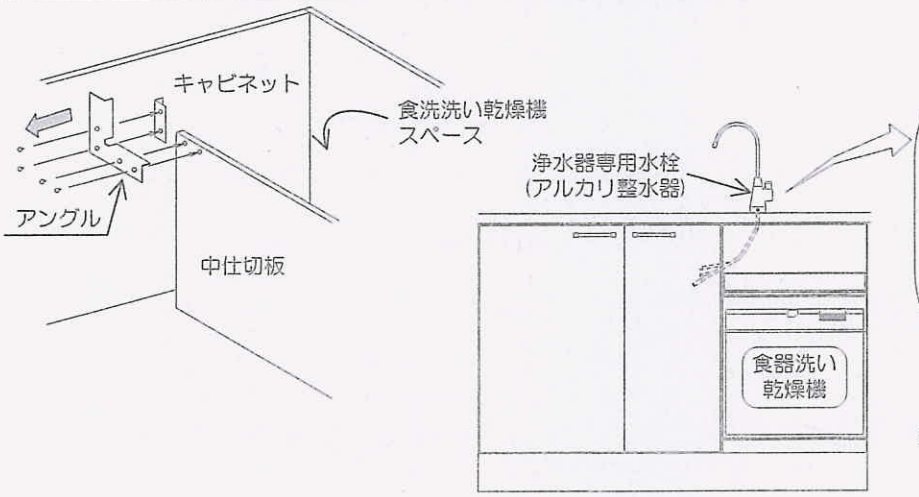
①中仕切板の後にあるアングルをはずしてください。

②水栓の取付をスムーズに行う為、取付前に水栓の銅管を曲げてください。

（※銅管を局部的に曲げないでください。銅管が破損する恐れがあります。）

③水栓を取付けてください。

④取りはずしたアングルを元に戻してください。

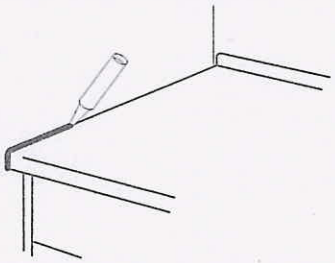


銅管を食器洗い乾燥機と反対側に曲げる

8. ワークトップの設置

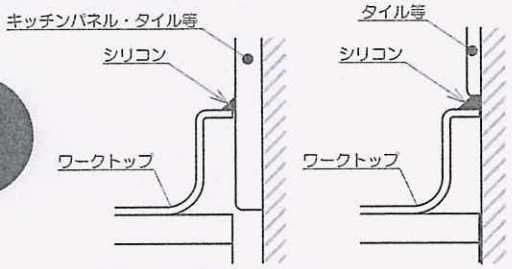
⚠作業上の注意事項

人造大理石製ワークトップの両端が壁の場合シリコンによる目地を3～4mmとってください。



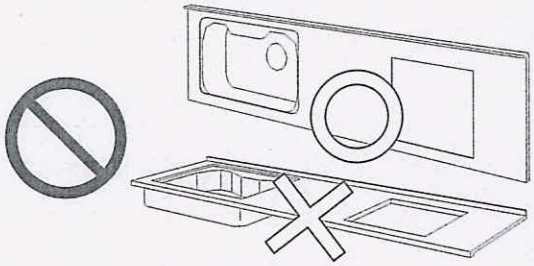
温度変化による伸縮によって、ワークトップにそりが発生する恐れがあります。

壁等に接するワークトップ部分は、シリコンでコーキング処理を行ってください。



水が進入した場合、腐食や、カビ発生の原因になる恐れがあります。

ワークトップを移動する場合は、水平にした状態で運ばないでください。



水平にした状態で運んだ場合、ワークトップに損傷を与える恐れがあります。

設置中、ワークトップおよびシンクの中などに乗らないでください。

製品が変形・破損する恐れがあります。

ワークトップ関連の作業を行っていない場合ダンボール等で養生を行ってください。

壁塗り、タイル張り、配管工事などに際して、モルタル、鉄くずなどでワークトップおよびシンクに傷がつく恐れがあります。

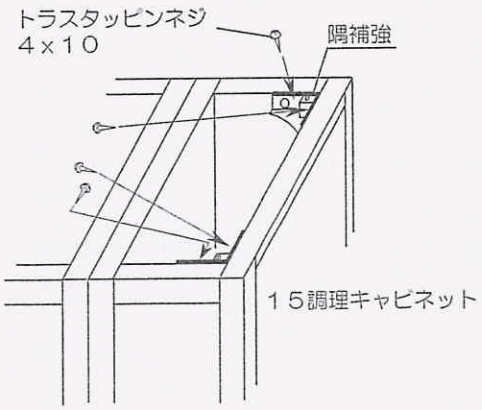
シンナー、アセトン等の強力な溶剤で洗浄しないでください。

製品が変形・変色する恐れがあります。

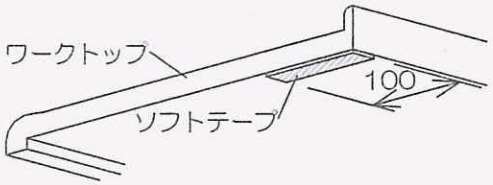
〔ステンレス製ワークトップの場合〕

【1. ワークトップ設置前の準備】

①１５間口調理キャビネットがセット端にくる場合は、隅補強２個をキャビネットに取付けてください。

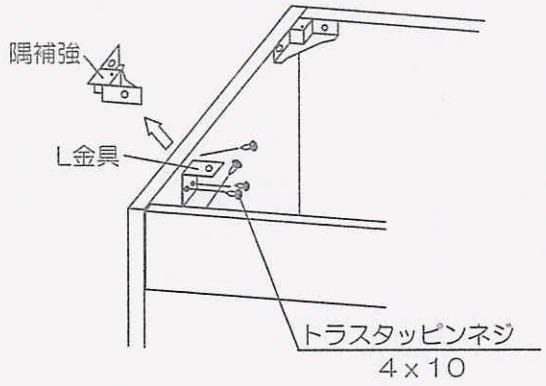


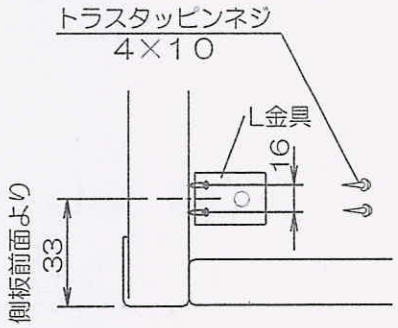
②シンクキャビネット以外にエンドカバーを取付ける場合は、ワークトップ裏面の所定の位置にコーキングのバックアップ用のソフトテープ（エンドカバーに同梱）を貼付けてください。



③シンクがSシンク（幅600㎜）の場合は、セットエンド側手前の隅補強をはずして、ワークトップに付属のネジでL金具を取付けてください。

注）防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。

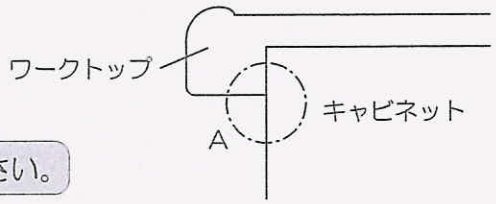




【2. ワークトップの仮置き】

ワークトップをキャビネットにのせ、A部にスキが発生しないようにワークトップを奥へ押し付けてください。

注）シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。

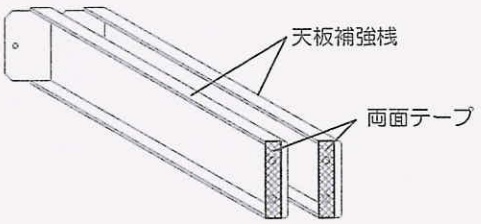


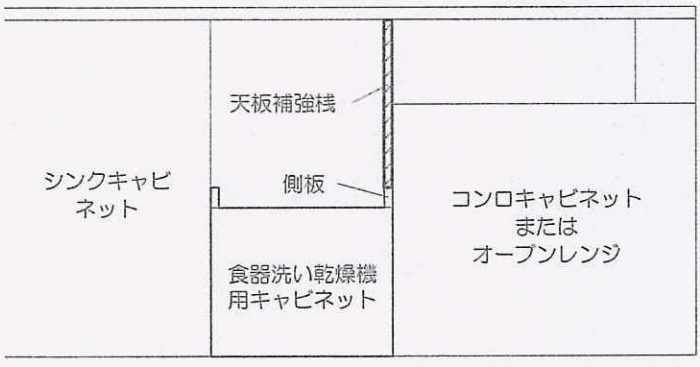
【3. 天板補強桟の取付】（加熱機器と食器洗い乾燥機が並んで設置される場合のみ）

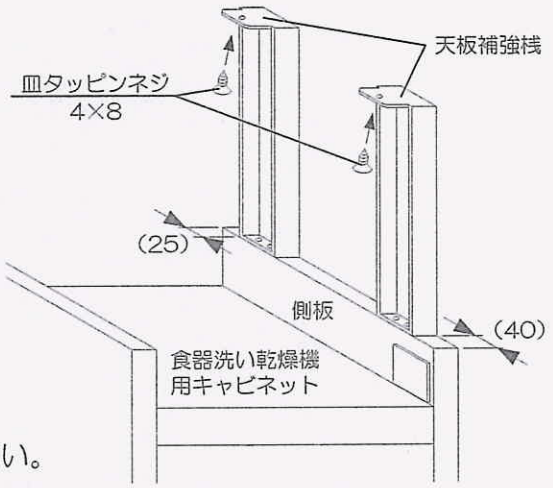
<食器洗い乾燥機用キャビネットがF-DWP45の場合>

①天板補強桟の下面に、付属の両面テープを貼付けてください。

②食器洗い乾燥機用キャビネットの側板に、天板補強桟を貼付けてください。





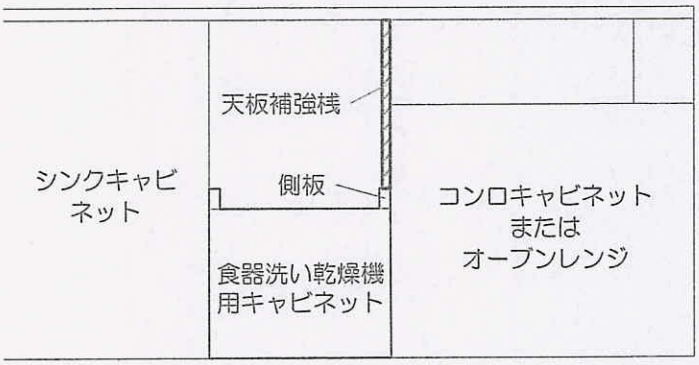


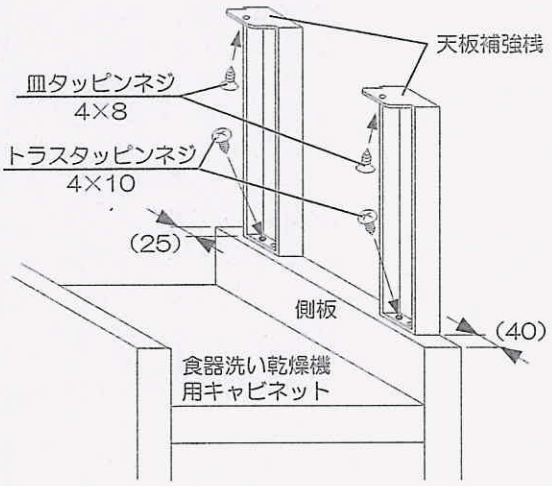
③天板補強桟にネジを打って、天板補強桟を固定してください。

注）天板補強桟が左右にズレるのを防止するため、ネジを打ちます。ネジは天板補強桟に効かせますが、ネジの先がワークトップの裏貼に入り込むようにネジを打ってください。

＜食器洗い乾燥機用キャビネットがF-DWX60・45の場合＞

①食器洗い乾燥機用キャビネットの側板に、天板補強桟をネジで取付けてください。





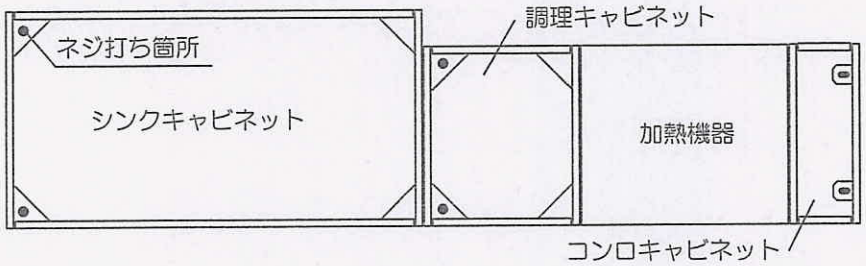
②天板補強桟にネジを打って、天板補強桟を固定してください。

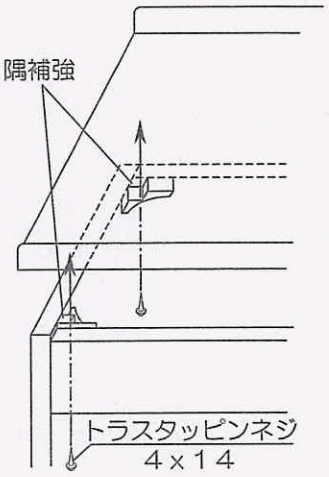
注）天板補強桟が左右にズレるのを防止するため、ネジを打ちます。ネジは天板補強桟に効かせますが、ネジの先がワークトップの裏貼に入り込むようにネジを打ってください。

【4. ワークトップの固定】

①隅補強からの固定

キャビネットの隅補強より、ネジでワークトップを固定してください。
固定箇所はワークトップの両サイドと中央部です。

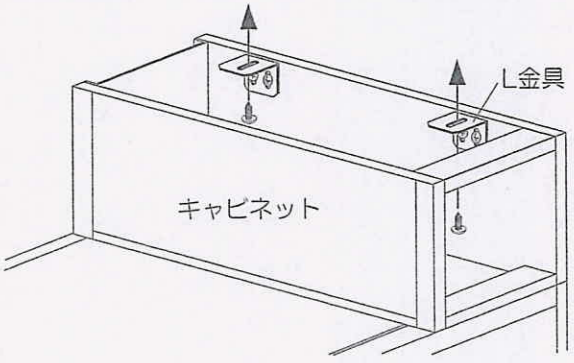


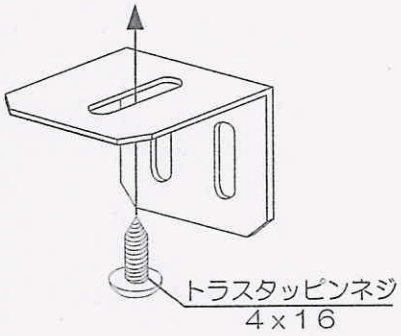


②L金具からの固定

＜90・75間口コンロキャビネットがセット端にくる場合＞

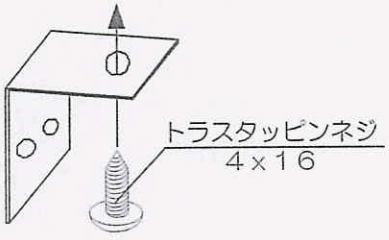
キャビネットのL金具より、ワークトップを固定してください。





＜シンクがSシンク（間口600mm）の場合＞

付替えたL金具より、ワークトップを固定してください。



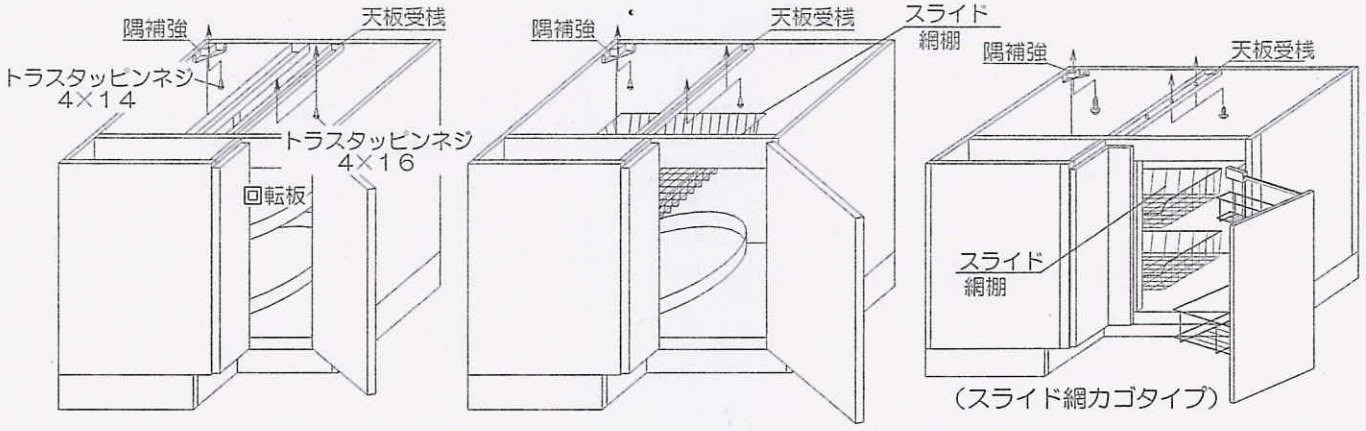
③コーナーキャビネットからの固定（L型配列の場合のみ）

次の作業を行ってから、天板受桟よりワークトップを固定してください。

・105間口キャビネット：スライド網棚をはずしてください。

・90間口キャビネット　：上部回転板の固定ネジをゆるめ、回転板を下方へずらしてください。

注）ワークトップのコーナー奥部がキャビネットから浮いている場合は、コーナーキャビネット奥部の隅補強よりネジで固定してください。



<90間口キャビネット>　　<105間口キャビネット>

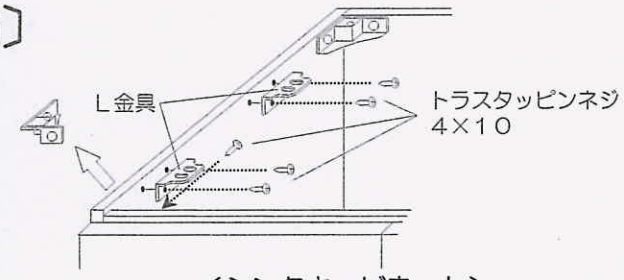
〔人造大理石製ワークトップの場合〕

【1．ワークトップ設置前の準備】

①シンクキャビネット

前側の左右の隅補強をはずしてください。

セット端にくる場合は、ワークトップに付属のL金具を取付けてください。



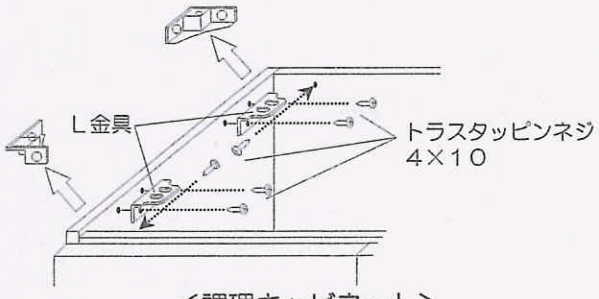
<シンクキャビネット>

②調理キャビネット

セット端にくる場合は、セット端側の隅補強をはずして、ワークトップに付属のL金具に付け替えてください。

注）●隅補強を取付けていたネジと、シンクキャビネットに付属のネジを使用してください。

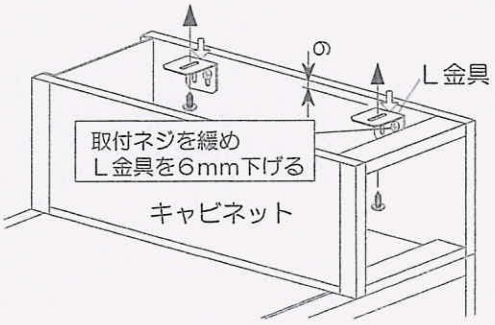
●防錆のため、はずしたネジは元の位置に取付けてください。



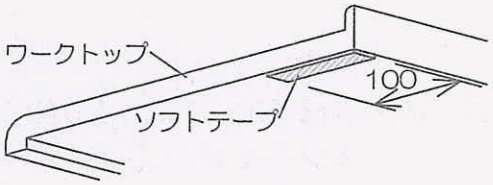
<調理キャビネット>

③９０・７５間口コンロキャビネット

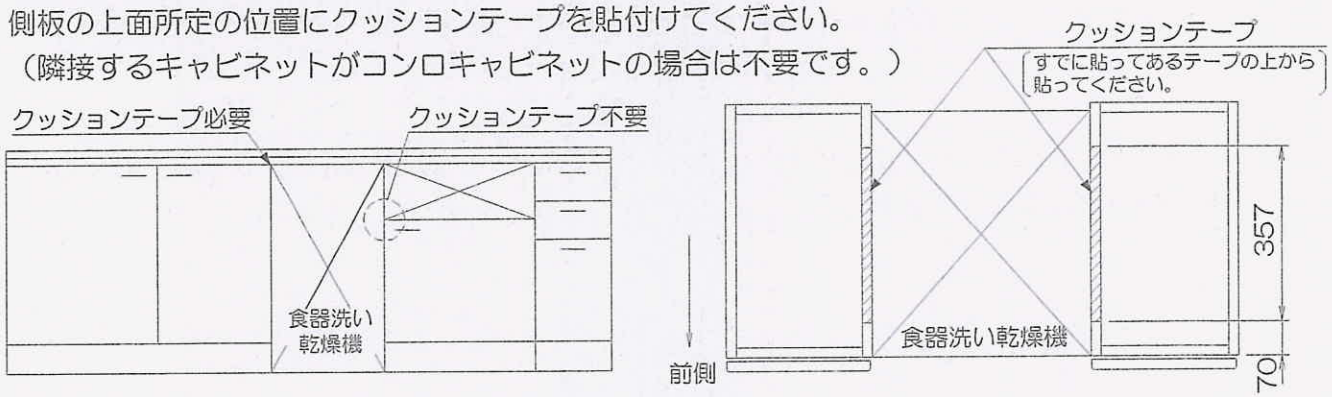
セット端にくる場合は、L金具の取付ネジをゆるめてL金具を下方へ6㎜ずらして、再度取付ネジを締め込んでください。



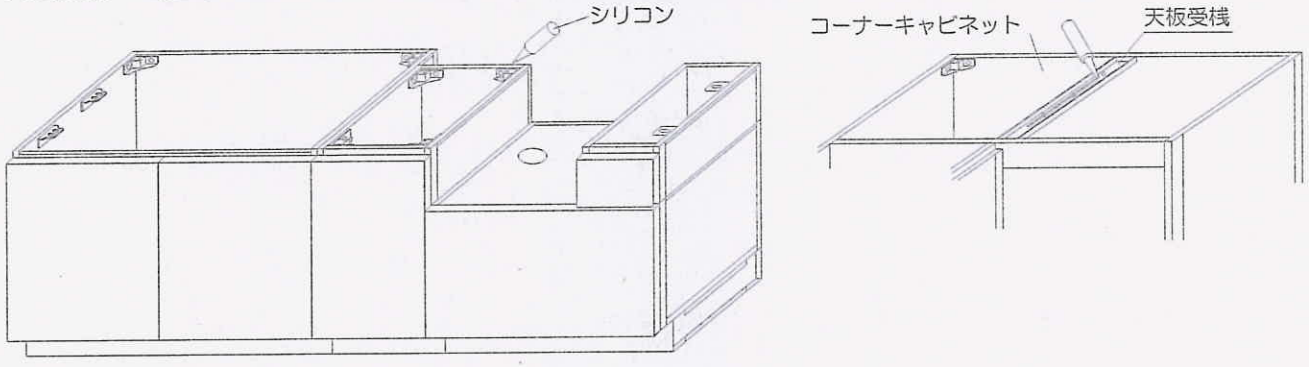
④シンクキャビネット以外にエンドカバーを取付ける場合は、ワークトップ裏面の所定の位置にコーキングのバックアップ用のソフトテープ（エンドカバーに同梱）を貼付けてください。



⑤食器洗い乾燥機（シンク下設置タイプは除く）に隣接するキャビネット側板の上面所定の位置にクッションテープを貼付けてください。
（隣接するキャビネットがコンロキャビネットの場合は不要です。）

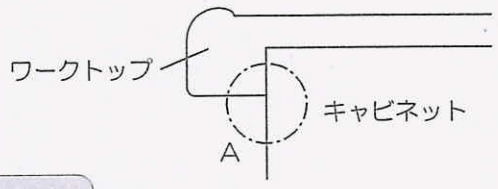


⑥隅補強の上面にシリコンを塗布してください。
L型配列の場合、はコーナーキャビネットの天板受桟にもシリコンを塗布してください。



【2. I型配列のワークトップの設置】

①ワークトップの仮置き
ワークトップをキャビネットにのせ、A部にスキが発生しないようにワークトップを奥へ押し付けてください。



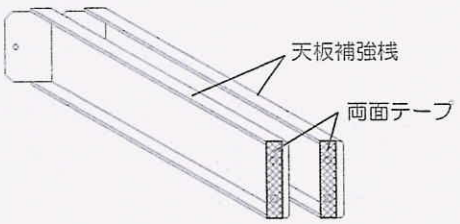
注）シンク裏面のシンクカバーを破らないようにしてください。

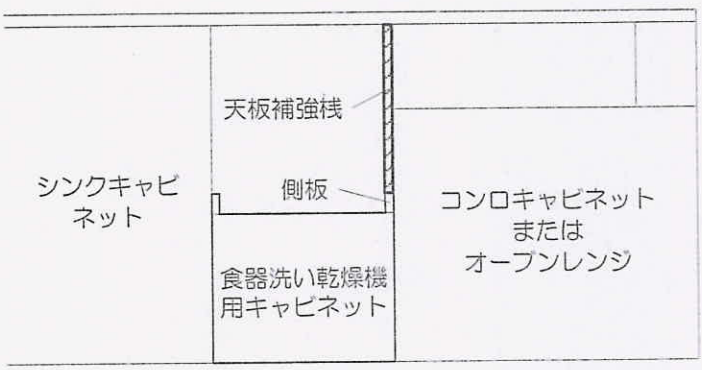
②天板補強桟の取付（加熱機器と食器洗い乾燥機が並んで設置される場合のみ）

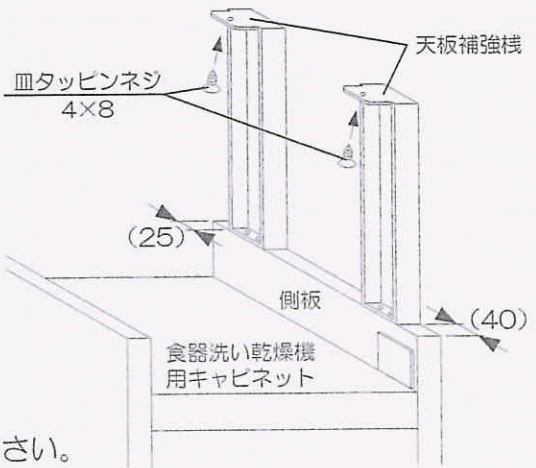
＜食器洗い乾燥機用キャビネットがF-DWP45の場合＞

(1)天板補強桟の下面に、付属の両面テープを貼付けてください。

(2)食器洗い乾燥機用キャビネットの側板に、天板補強桟を貼付けてください。





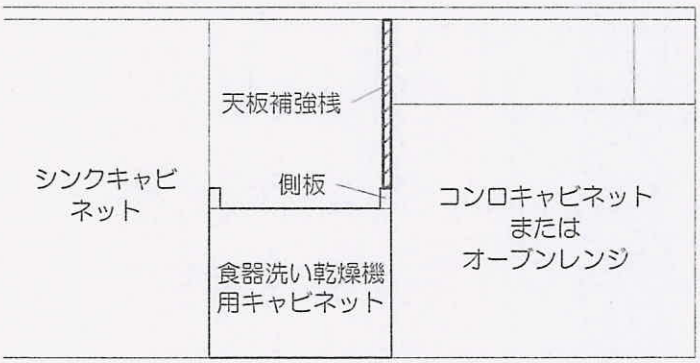


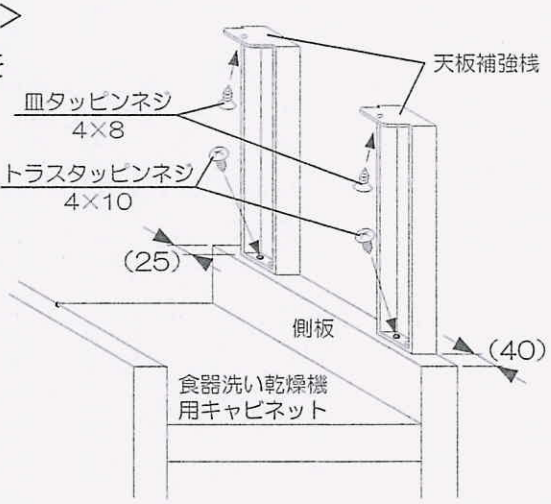
(3)天板補強桟にネジを打って、天板補強桟を固定してください。

注）天板補強桟が左右にズレるのを防止するため、ネジを打ちます。ネジは天板補強桟に効かせますが、ネジの先がワークトップの裏貼に入り込むようにネジを打ってください。

＜食器洗い乾燥機用キャビネットがF-DWX60・45の場合＞

(1)食器洗い乾燥機用キャビネットの側板に、天板補強桟をネジで取付けてください。





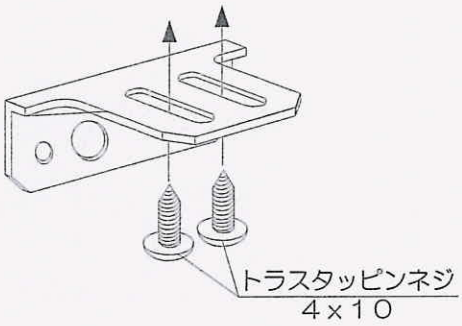
(2)天板補強桟にネジを打って、天板補強桟を固定してください。

注）天板補強桟が左右にズレるのを防止するため、ネジを打ちます。ネジは天板補強桟に効かせますが、ネジの先がワークトップの裏貼に入り込むようにネジを打ってください。

③【1．ワークトップ設置前の準備】で取付けたL金具より、ワークトップを固定してください。

注）L金具の長穴のセンター付近にネジを打ってください。

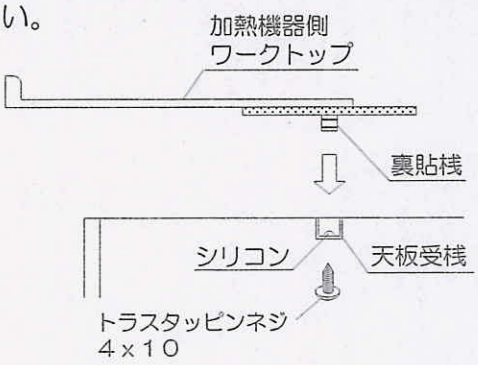
④ワークトップの上におもりを置いて、シリコンが硬化するまで約１日放置してください。

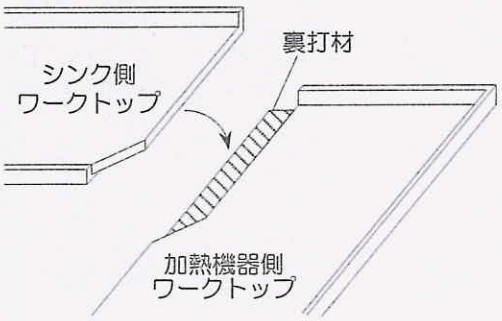


【5．L型配列のワークトップの設置】

①裏貼桟がコーナーキャビネットの天板受桟にはまり込むように、加熱機器側ワークトップをキャビネット上に設置してください。

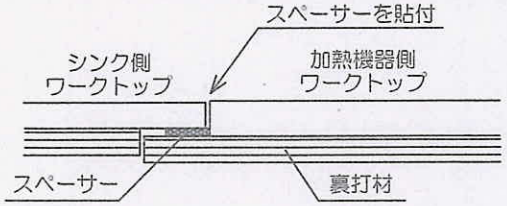
②加熱機器側ワークトップの裏打材の上にのせるように、シンク側ワークトップをキャビネット上に設置してください。



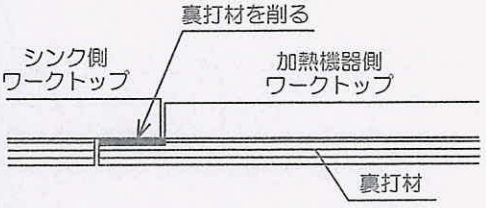


③両方のワークトップを所定の位置に置いて、接合部が密着することを確認してください。
ワークトップの段差が大きい場合は、段差を小さく調整してから接着作業を行ってください。

・シンク側のワークトップが低い場合：同梱のスペーサーを貼付
・シンク側のワークトップが高い場合：裏打材を削る



＜シンク側のワークトップが低い場合＞



＜シンク側のワークトップが高い場合＞

④加熱機器側ワークトップの端部を、キャビネットのＬ金具よりネジで固定してください。

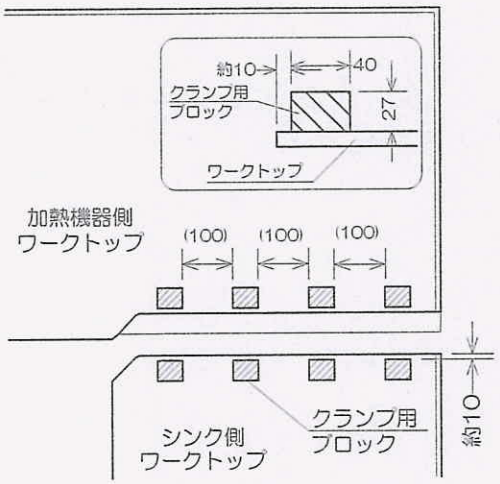
⑤コーナーキャビネットの天板受桟のセンターの固定穴より、キャビネットに付属のネジで加熱機器側ワークトップを仮固定してください。

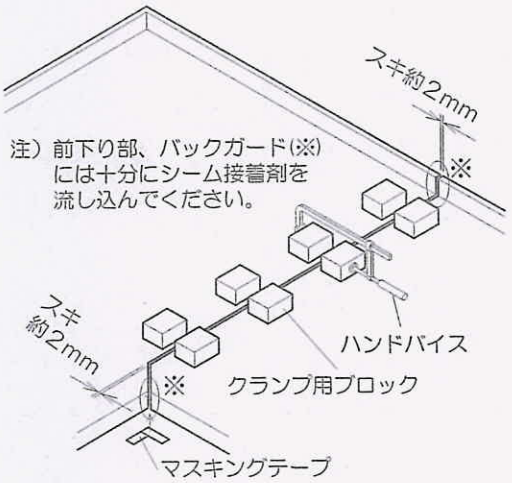
⑥ワークトップの接合面およびその周辺（巾約５ｃｍ）をきれいな白い布を使って、工業用アルコールで十分ふいてください。

⑦付属のクランプ用ブロック（合板）を所定の位置に貼り付けてください。

注）接着剤は木工用瞬間接着剤（アイカアイボン、アロンアルファー）または、ホットメルト接着剤を使用してください。

⑧接合部のスキ間が約２mmになるようにシンク側ワークトップを設置してください。
前下り部の下面はマスキングテープでシールしてください。





⑨接着作業

○接着作業はワークトップに付属のシーム接着剤の取扱説明書にしたがって、作業してください。

○接着剤注入後ハンドバイスでクランプ用ブロックを締めつけてください。

注）●硬化するまでバイスははずさないでください。
●接着部分に爪痕がつかない程度に硬化すれば、次工程に進んでください。
但し、ワークトップを加熱した場合は、常温まで冷やしてから作業を行ってください。
●低温時に作業する際は、接着剤を流しこむ前に接合部付近を30℃程度まで暖めておくと早く硬化します。

⑩シンク側ワークトップの端部を④と同様に、キャビネットのＬ金具よりネジで固定してください。

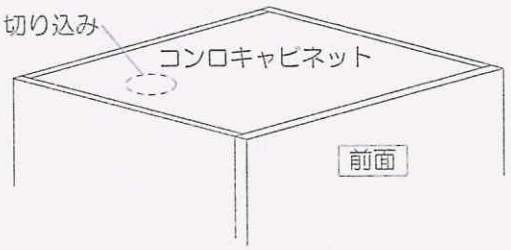
⑪接着剤が硬化した後、ワークトップに付属のシーム接着剤の取扱説明書にしたがって、仕上げ作業を行ってください。

⑫コーナーキャビネットの天板受桟よりワークトップを仮固定したネジをはずしてください。

9. 加熱機器の設置

加熱機器に付属の設置説明書にしたがって設置してください。

注）加熱機器がガスコンロの場合は、切り込みを利用して配管穴を加工してください。



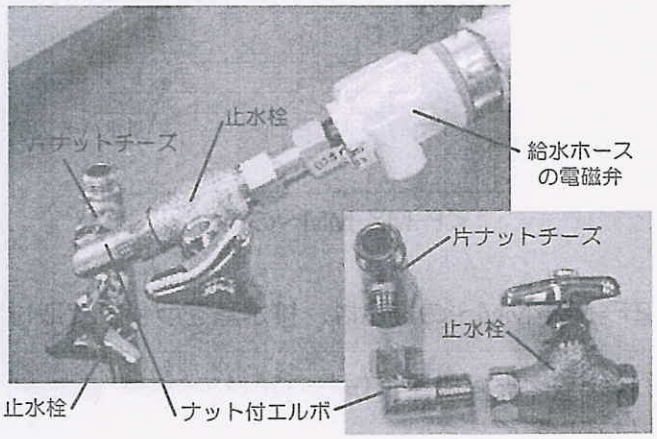
10. スペーサーキャビネットの設置

スペーサーキャビネットに付属の設置説明書にしたがって設置してください。

11. 食器洗い乾燥機の設置

食器洗い乾燥機に付属の設置説明書にしたがって設置してください。

注）パナソニック製 45間口の食器洗い乾燥機は、給水ホースの先端に電磁弁が付いているため、接続しにくくなっています。
給水ホースが引出や収納物、トラップ等と干渉しないように接続するため、別売部品のナット付エルボを片ナットチーズと止水栓の間に取付けて接続してください。
ナット付エルボが無くても接続できる場合は、不要です。



12. 排水蓋・点検口蓋の穴加工

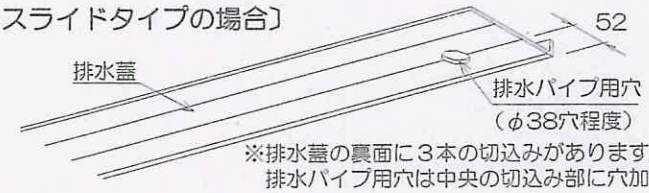
【1. 排水用穴の加工】

排水蓋に排水パイプ用の穴（φ38程度）を加工してください。

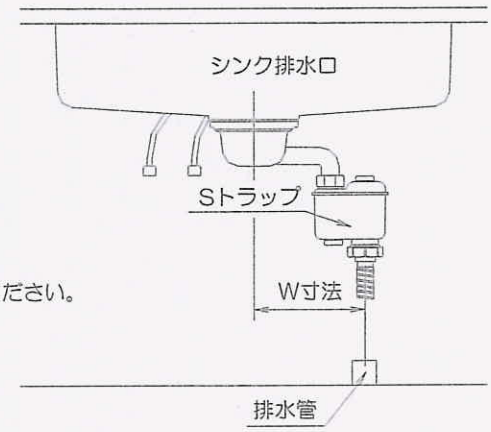
・奥行位置：足元スライドタイプ：排水蓋の中央の切込み部（後側より52mm）
扉・スライドタイプ：後から67mm

・間口位置・シンク排水口からWmm

〔足元スライドタイプの場合〕



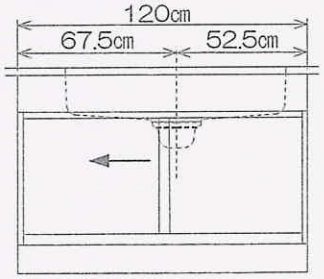
※排水蓋の裏面に3本の切込みがあります。
排水パイプ用穴は中央の切込み部に穴加工してください。



〔扉・スライドタイプの場合〕

キャビネット	向き	W寸法		
		Zシンク 人大シンク	Yシンク	Sシンク
F-MX·MN·M120	67.5㎝側	0	170	−
F-MX·MN·M105	加熱機器と反対側			
F-MX·MN·M90	加熱機器側	−		250
F-MM·MC·MY105				180
F-MS·ML135·120 F-MR·MW135～90	食洗と反対側	10	25	

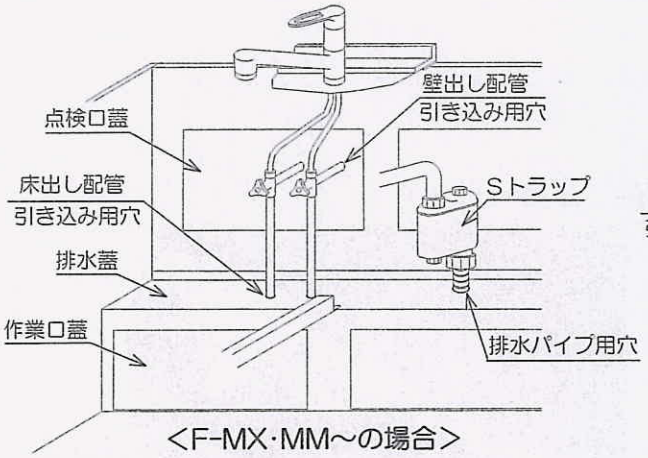
〔F-MX·MN·M120の場合〕



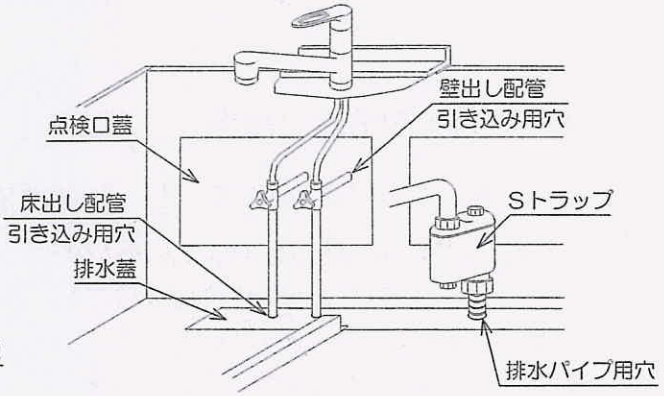
注）排水管の位置が上表と大きくズレている場合は、排水管を正しい位置に移動してください。
移動できない場合は以下の項目に注意して、排水管の位置に合わせて穴を加工してください。
・引出や収納物と干渉しないように、Sトラップを配置できるかどうか。
・オプション水栓を設置する場合、カートリッジ等の設置スペースが確保できるかどうか。

【2. 給水・給湯管引き込み用穴の加工】

①排水蓋または後板の点検口蓋に、給水・給湯管引き込み用の穴を加工してください。



<F-MX·MM～の場合>



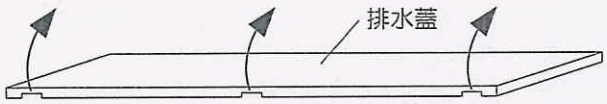
<F-MX·MM～以外の場合>

②F-MX·MM～の場合は、排水蓋をラッチで取付けてください。

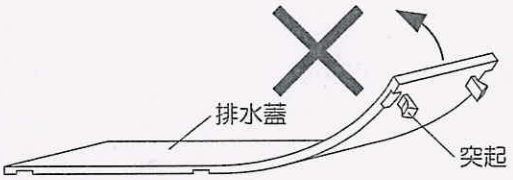
排水蓋・点検口蓋・作業口蓋が蓋の突起でキャビネットに取付けられている場合は、以下の要領ではずしてください。

<排水蓋>

手前側の凹み3箇所部分を持ち上げて排水蓋をはずしてください。



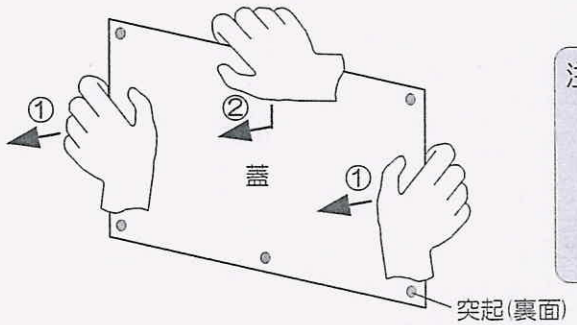
注）右図のように片側を持って、無理にはずさないでください。突起が折れるおそれがあります。



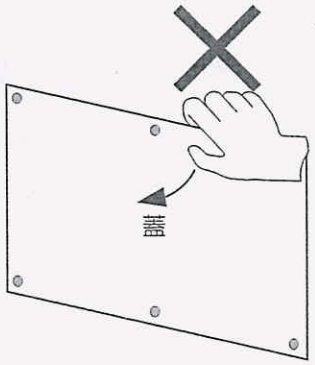
<点検口蓋・作業口蓋>

①両サイドの中央部分に手を掛け、手前に引いて4隅の突起をはずしてください。

②上辺の中央部分に手を掛け、下方向に力を加えながら手前に引いてはずしてください。



注）右図のように指示と異なる部分を持って、無理にはずさないでください。突起が折れるおそれがあります。



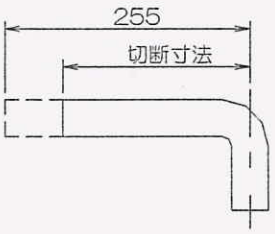
13. 排水部品の取付

【1. 排水エルボの切断】

排水エルボを所定の長さに切断してください。

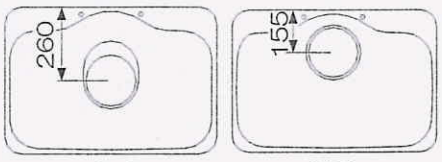
切断寸法はキャビネットやシンクの種類によって異なりますので、注意してください。

キャビネット	切断寸法			
	Zシンク(旧)	Zシンク(新) 人大シンク	Yシンク	Sシンク
F-MX·MN·M120~90	140	80	150	200
F-MM·MC·MY105	ー			160
F-MS·ML135·120 F-MR·MW135~90	160	80	80	



注）●Zシンクは排水口位置変更により、排水エルボの切断寸法が変更になります。新旧を確認して切断してください。
●排水管の位置が標準配管と異なり、その排水管の位置に合わせて排水蓋に穴を加工した場合、排水エルボの切断は現場合わせで行ってください。

<Zシンクの排水口位置変更>



【2. 排水器具・排水エルボ・Sトラップの取付・排水パイプの取付】

<人大シンク以外の場合>

①取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

注）●トラップ取付部に異物が残っていると水漏れの恐れがあります。
●トラップ取付部のスキが、なるべく均一になるように取付けてください。

②排水器具にパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

注）排水器具の溝部にパッキンがきっちり納まっているか確認してください。(A部詳細)

③排水器具をロックナットで仮固定してください。

④排水エルボに袋ナット・スリップワッシャ・台形パッキンを差し込んでください。

注）差し込む順序や台形パッキンの向きが間違ってないか確認してください。(B部詳細)

⑤排水エルボとSトラップを接続してください。

⑥排水パイプを排水蓋の穴に通してください。
(F-MX·MM~の場合のみ)

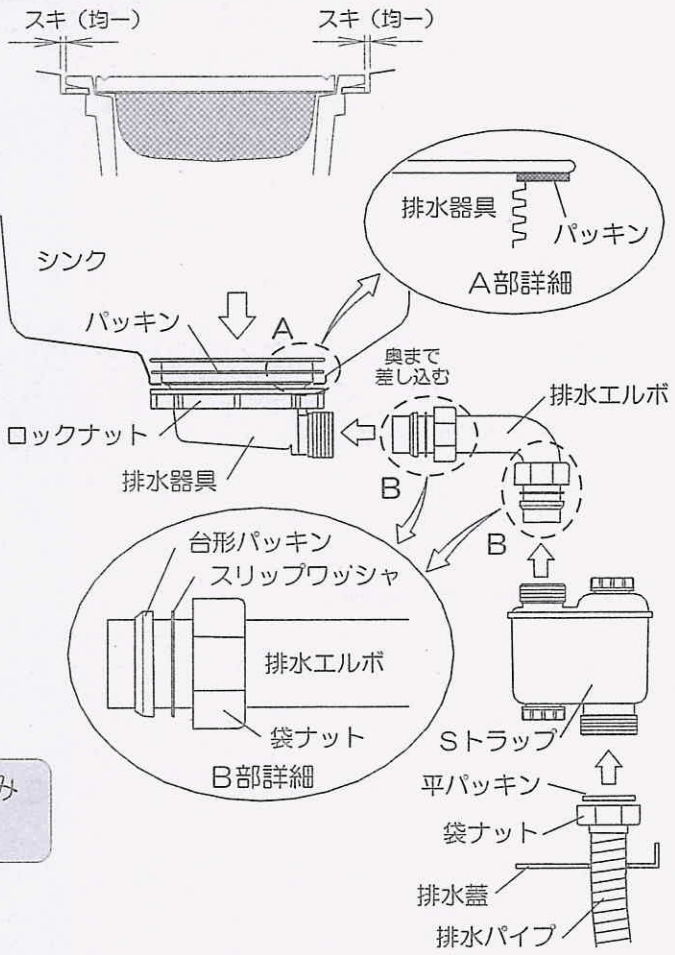
⑦排水器具に排水エルボを接続し、Sトラップが排水蓋の穴の位置にくるように排水器具・Sトラップの向きを調節してください。

注）排水エルボは排水器具の奥まで十分に差し込み袋ナットをしっかり締め付けてください。

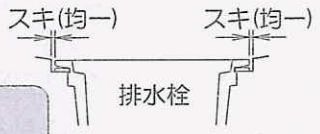
⑧ロックナットを締め付けてください。

⑨Sトラップに排水パイプを取付けてください。

注）●排水パイプの平パッキンをそのまま使用してください。
●接続完了後、排水器具のロックナットと接続部の袋ナットを再度締め付けてください。



＜人大シンクの場合＞



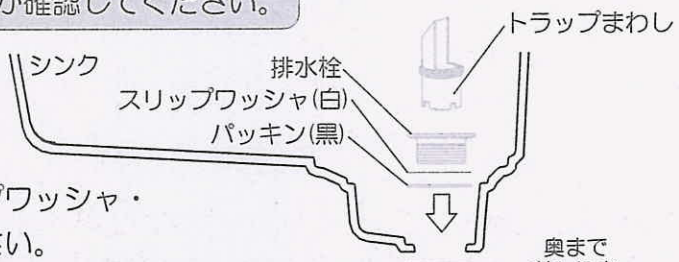
①取付部のゴミ、ほこり等をふき取ってください。

注）●排水栓の取付部に異物が残っていると水漏れの恐れがあります。
●排水栓の取付部のスキが、なるべく均一になるように取付けてください。

②排水栓にスリップワッシャおよびパッキンを取付け、シンクの中から排水口に差し込んでください。

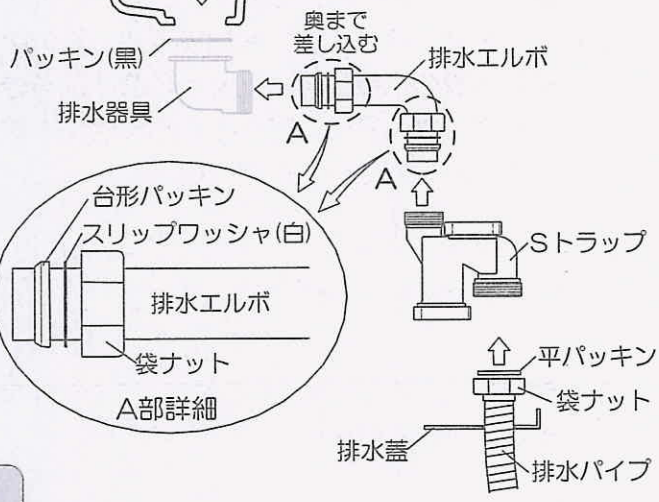
注）差し込む順序が間違ってないか確認してください。

③下からパッキンをはさみ、排水器具を仮固定してください。



④排水エルボに袋ナット・スリップワッシャ・台形パッキンを差し込んでください。

注）差し込む順序や台形パッキンの向きが間違ってないか確認してください。（A部詳細）



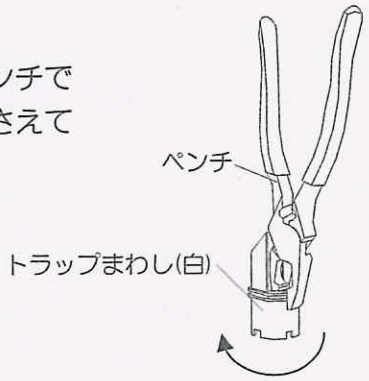
⑤排水エルボとSトラップを接続してください。

⑥排水パイプを排水蓋の穴に通してください。
（F-MX･MM～の場合のみ）

⑦排水器具に排水エルボを接続し、Sトラップが排水蓋の穴の位置にくるように排水器具・Sトラップの向きを調節してください。

注）排水エルボは排水器具の奥まで十分に差し込み袋ナットをしっかり締め付けてください。

⑧排水栓の上にトラップまわしをはめ込んでください。右図のようにペンチでトラップまわしを持ち、もう一方の手でシンクの裏から排水器具を押さえて締め付けてください。



⑨Sトラップに排水パイプを取付けてください。

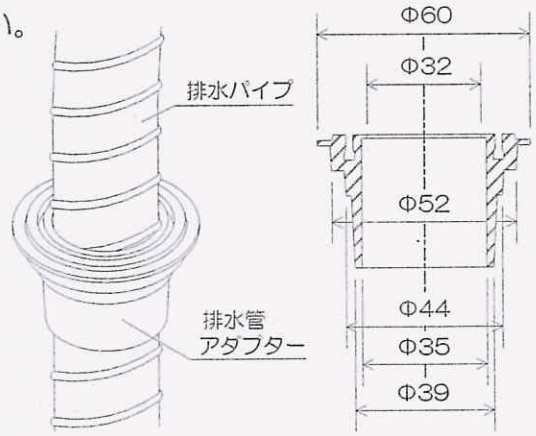
注）●排水パイプの平パッキンをそのまま使用してください。
●接続完了後、排水栓と排水器具や接続部の袋ナットを再度締め付けてください。

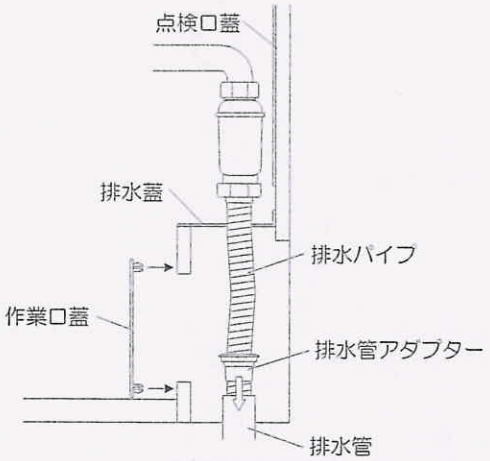
14. 排水管の接続

排水管の接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。

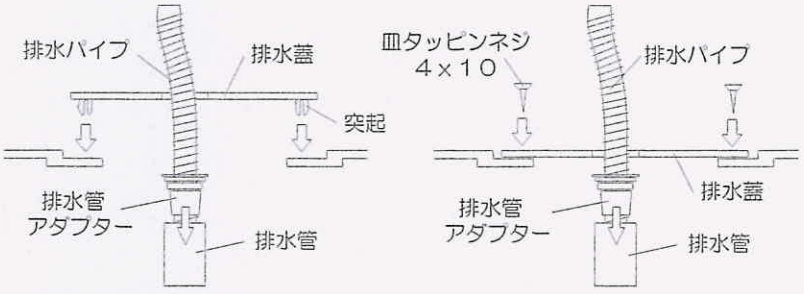
①排水管アダプターを排水パイプに挿入してください。

②排水管アダプターを排水管に差込み、隙間のないように完全にシールしてください。
排水管アダプターはVP-40（内径φ40）、VU-40（内径φ44）、VP-50（内径φ51）の排水管に接続できます。





<F-MX･MM～の場合>



<F-MX･MM～以外の場合>

15. 給水・給湯管と水栓の接続

○接続工事は各地水道局指定工事店に依頼してください。
○接続工事は水栓の取付説明書にしたがって行ってください。

注）排水蓋・点検口蓋・作業口蓋が蓋の突起でキャビネットに取付けられている場合は、22ページを参照してはずしてください。

○全ての接続工事が終わったら、排水蓋・点検口蓋・作業口蓋を付属のラッチ・ネジまたは蓋の突起で取付けてください。

注）接続作業が別途工事になる場合は、排水蓋・点検口蓋・作業口蓋および取付ラッチを作業者がわかる位置に保管しておいてください。
（取付が可能な場合は、極力取付けた状態で作業を終わるようにしてください。）

16. エンドパネルの取付（エンドパネルを取付ける場合のみ）

シンクキャビネットに付属のエンドパネル設置説明書にしたがって行ってください。

17. その他部品の取付

【1. 包丁差】

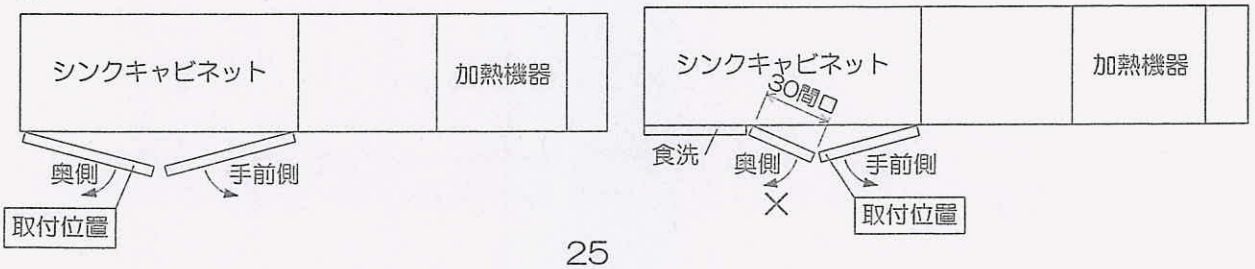
注）包丁差を取付けるときはネジのゆるみや浮きのないよう、正しく取付けてください。
取付方法を誤ると、使用中に包丁差がはずれてけがをする恐れがあります。

<扉タイプの場合>

①取付位置の確認

取付位置はシンクキャビネットの中で、加熱機器から見て奥側に開く４５間口以上の扉です。
（加熱機器から見て奥側に開く扉が無い場合は手前側に開く扉に取付けてください。）

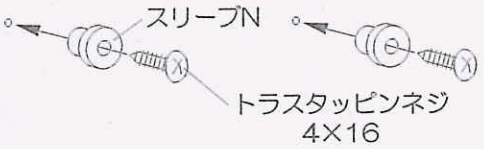
例）



②スリーブNの取付

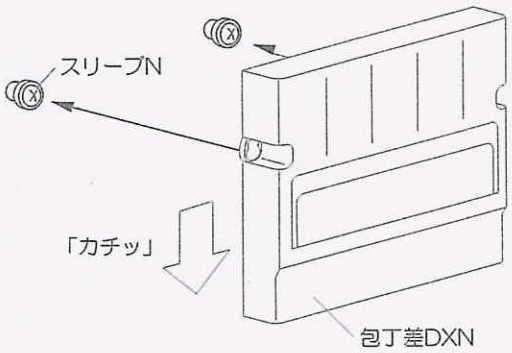
スリーブNを扉裏板にネジで取付けてください。

注）電気ドライバーは使わないで手締めしてください。スリーブNが破損する恐れがあります。



③包丁差の取付

包丁差ＤＸＮのだるま穴にスリーブNを差し込んで、「カチッ」と音が鳴るまで降ろして取付けてください。



④穴キャップの取付

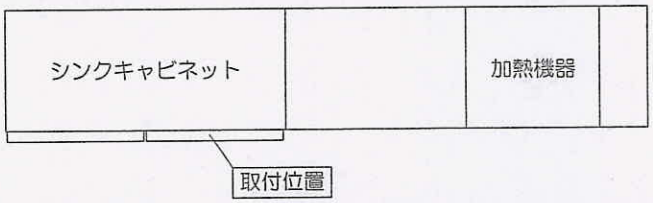
包丁差の取付に使用しない扉裏板の取付穴には、穴シール（直径12㎜）を貼付けてください。

<スライドタイプ・足元スライドタイプの場合>

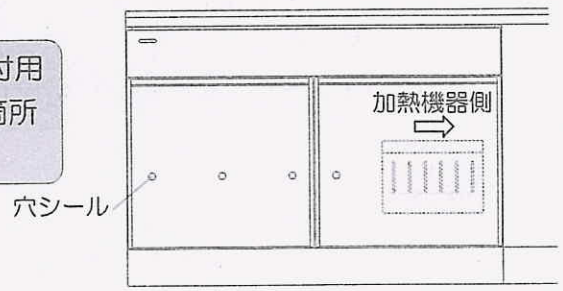
①取付位置の確認

取付位置はシンクキャビネットの中で、加熱機器に一番近い４５間口以上のスライド扉です。

例）



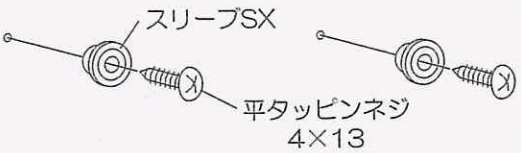
注）90・75・60間口のスライド扉には、包丁差取付用の穴が3～4箇所あいています。加熱機器側の2箇所を使用して取付けてください。



②スリーブＳＸの取付

スリーブＳＸを扉裏板にネジで取付けてください。

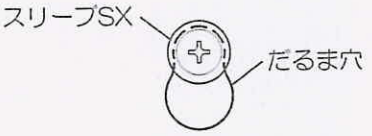
注）電気ドライバーは使わないで手締めしてください。スリーブSXが破損する恐れがあります。

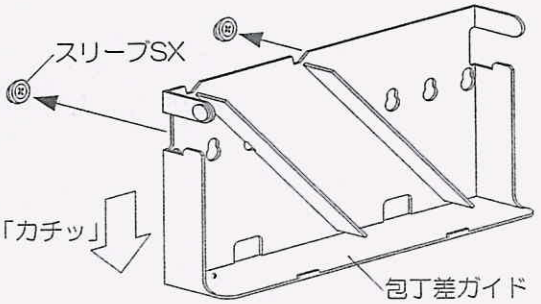


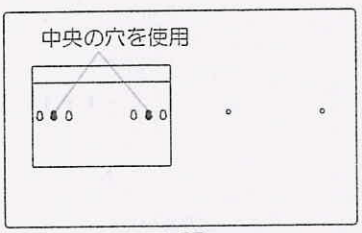
③包丁差ガイドの取付

包丁差ガイドのダルマ穴にスリーブＳＸを差し込んで、「カチッ」と音が鳴るまで降ろして取付けてください。

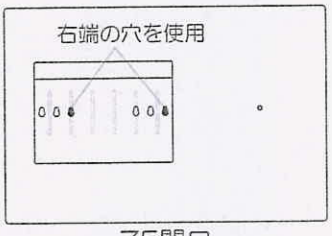
取付けに使用する穴は、下図を参照してください。



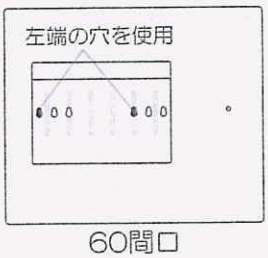




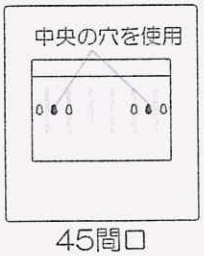
90間口



75間口



60間口



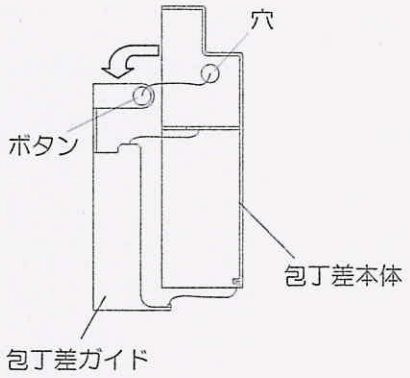
45間口

④包丁差本体の取付

包丁差ガイドのボタンを押しながら包丁差本体を差し込み、本体の穴とボタンが合う位置に取付けてください。

⑤穴キャップの取付

包丁差の取付に使用しない扉裏板の取付穴には、穴シール（直径12㎜）を貼付けてください。



【2. １５間口調理キャビネット】

＜レードル･ボトルラックタイプの場合＞

出荷時はＬタイプ（右側取り出し）にセットされています。Ｒタイプ（左側取り出し）にセットする場合は次のような手順で付替えてください。

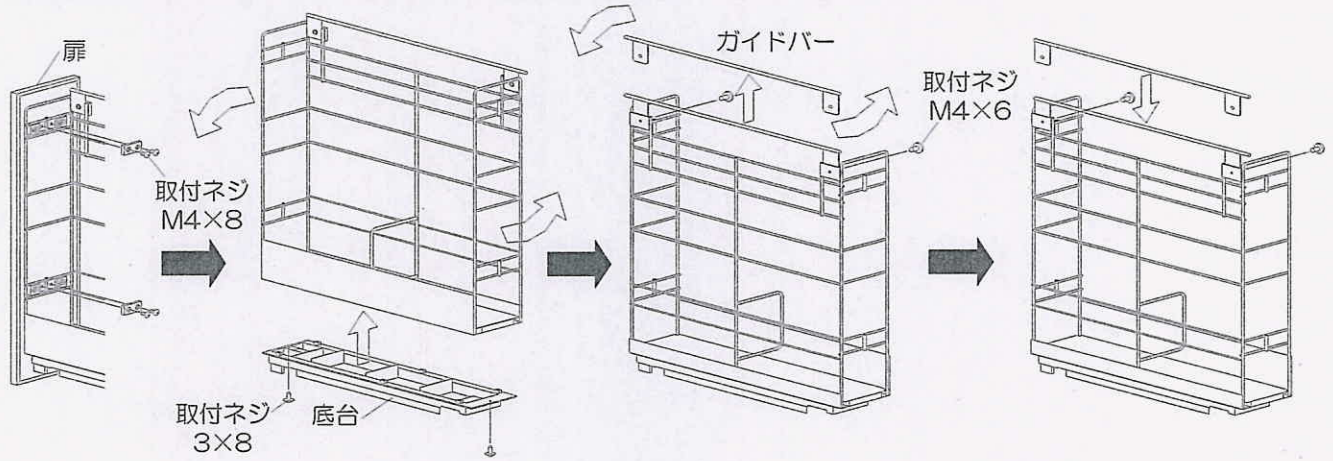
①キャビネットに同梱の取扱説明書を参照して、ラックをキャビネットから取りはずしてください。

②扉裏板に固定しているネジをはずして、ラックから扉を取りはずしてください。

③底台を固定しているネジをはずして、ラック本体の前後を入れ替えて再度ネジで底台を固定してください。

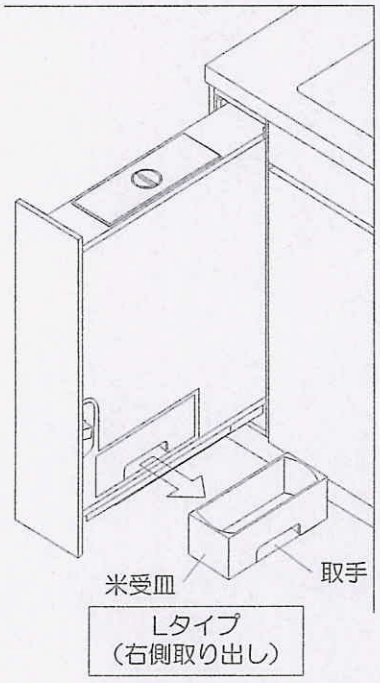
④ガイドバーを固定しているネジをはずして、前後を入れ替えて再度ネジで固定してください。

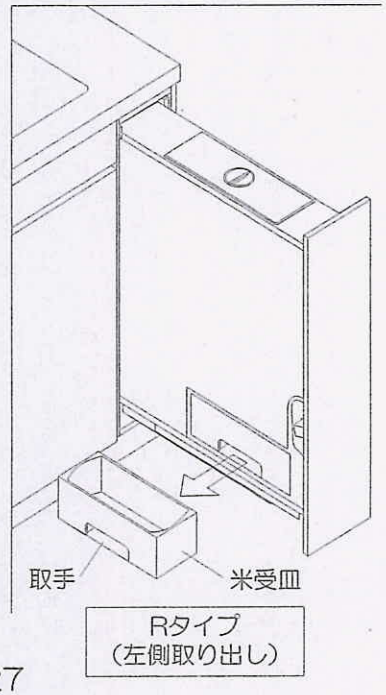
⑤扉裏板にラックをネジで固定し、元通りキャビネットに取付けてください。



＜米びつタイプの場合＞

出荷時はＬタイプ（右側取り出し）にセットされています。Ｒタイプ（左側取り出し）にセットする場合は、米受皿を引き抜いて取手を手前にして反対側から差し込んでください。





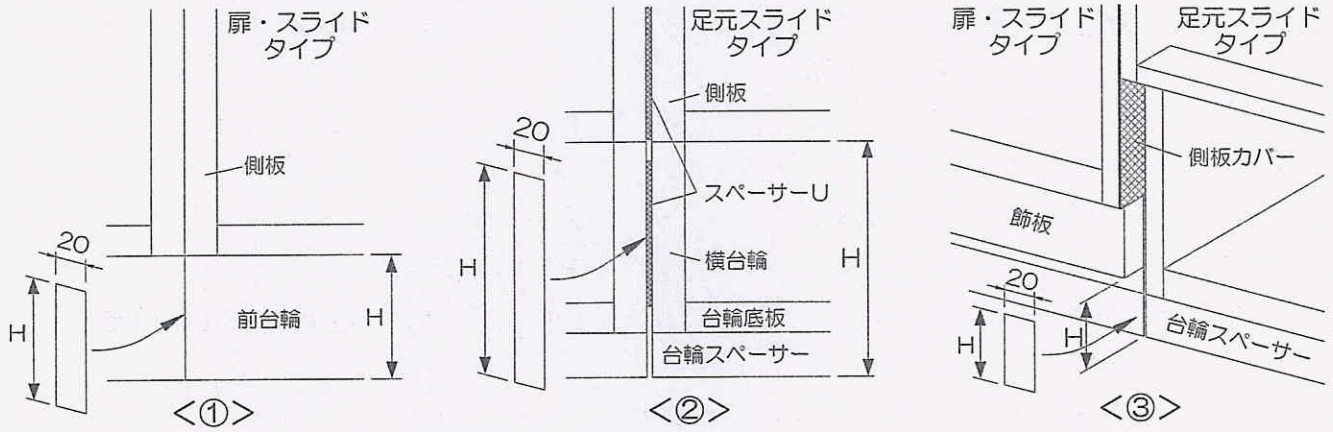
【3. 台輪テープ】

以下の部分には台輪テープをH寸法にカットして、キャビネット間の継ぎ目をふさぐように貼付けてください。

①扉・スライドタイプ同士のキャビネット間

②足元スライドタイプ同士でスペーサーUを貼付けたキャビネット間

③扉・スライドタイプと足元スライドタイプのキャビネット間（側板カバーを貼付けた部分）

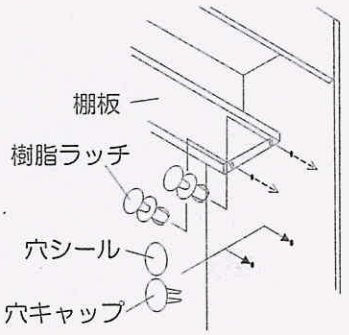


【4. 棚板】

①棚板の側面に付いているスポンジテープをはがしてください。

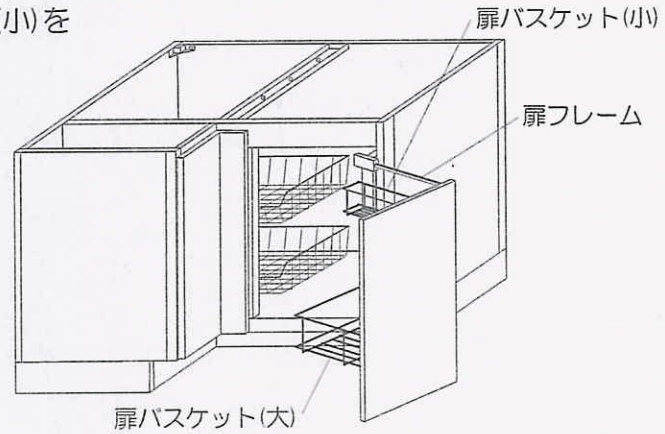
②棚板と側板の穴を合わせて、樹脂ラッチで固定してください。

③使用しない取付穴に穴シールまたは穴キャップを取付けてください。



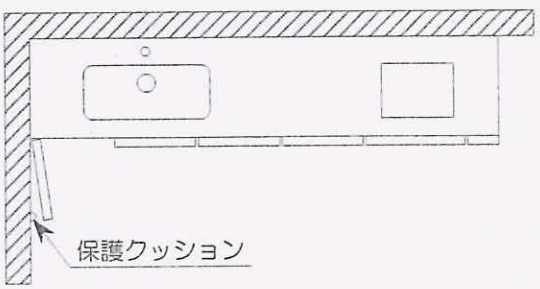
【5. 扉バスケット】（スライド網カゴタイプのコーナーキャビネットの場合のみ）

キャビネットに同梱されている扉バスケット(大)・(小)を扉フレームのフックに引っ掛けてください。



【6. 保護クッション】

扉および引手が隣接する壁等に当たる場合は、保護クッションを当たる部分に貼付けてください。



18. 扉の調整

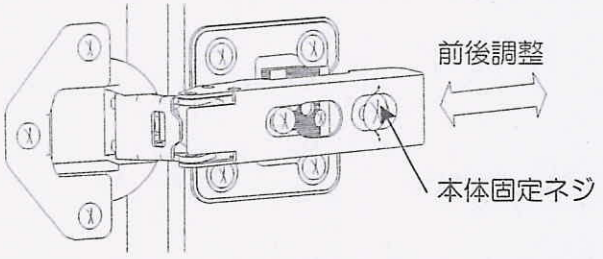
扉の傾き、段違いが発生した場合は、次の手順で調整してください。

【1. 開き扉】

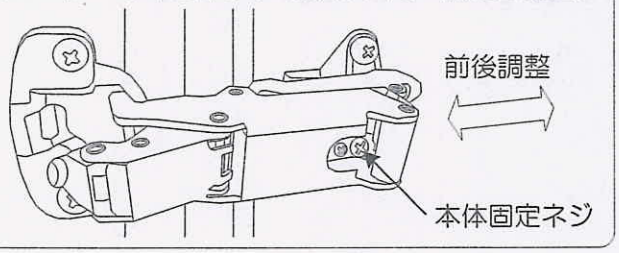
○扉の前後調整

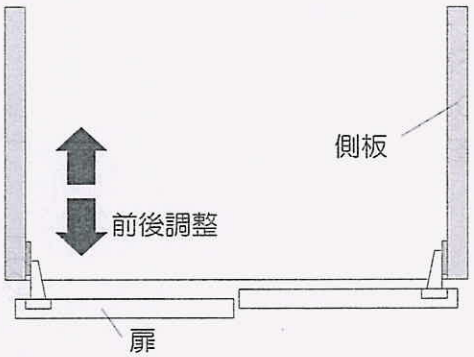
本体固定ネジを緩め，丁番を移動させて前後調整してください。

調整後は必ず本体固定ネジを締め直してください。



<コーナーキャビネットの扉が140° 開きの場合>

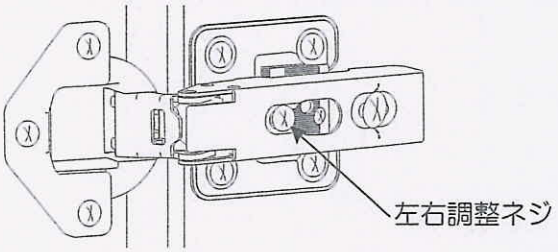




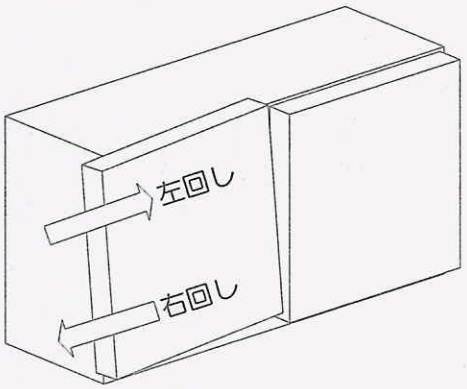
○扉の左右調整

左右調整ネジを回して左右調整してください。

調整後、本体固定ネジが緩む場合があるので、必ず本体固定ネジを締め直してください。



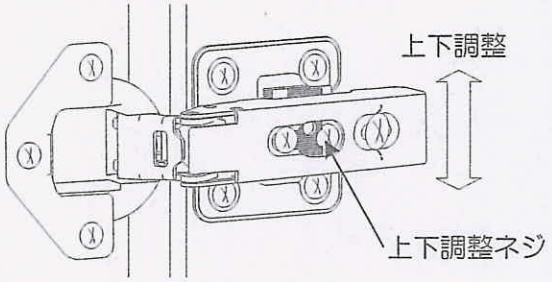
<コーナーキャビネットの扉が140° 開きの場合>

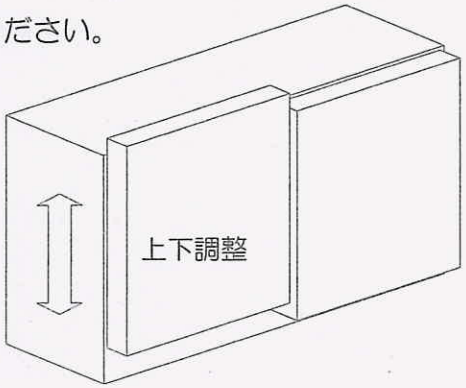


○扉の上下調整

上下調整ネジを緩め，丁番を移動させて上下調整してください。

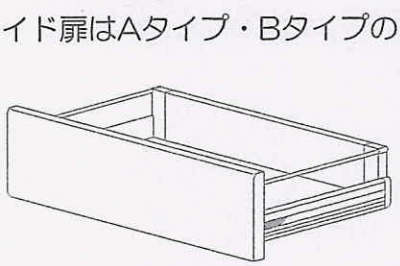
調整後は必ず上下調整ネジを締め直してください。



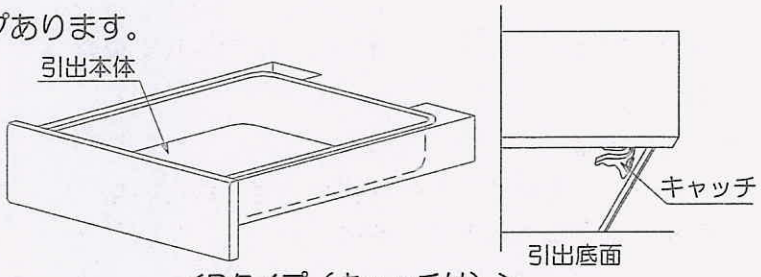


【2. スライド扉】

スライド扉はAタイプ・Bタイプの2タイプあります。



<Aタイプ>

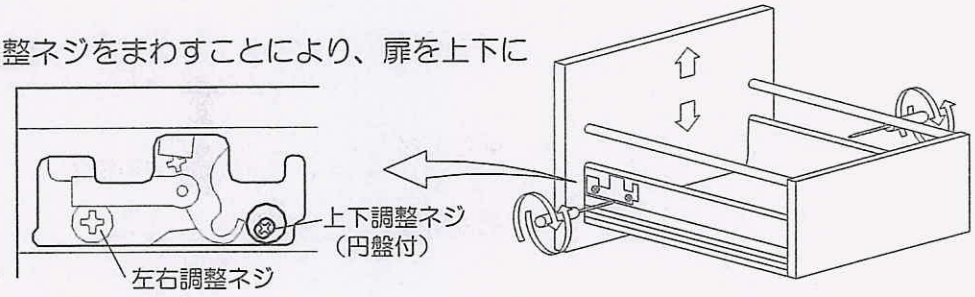


<Bタイプ（キャッチ付）>

<Aタイプの場合>

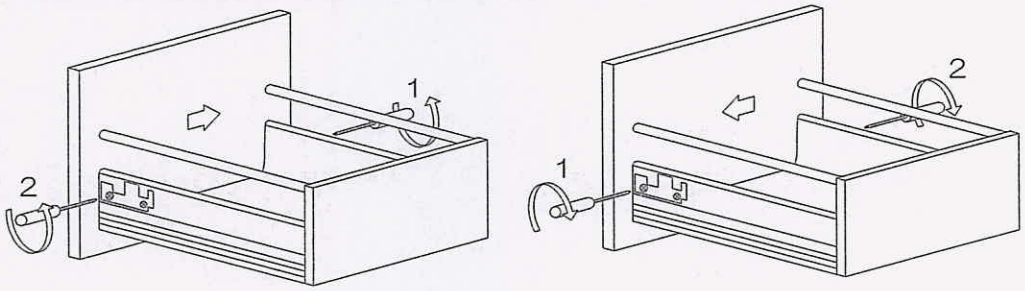
○上下調整

図のように上下調整ネジをまわすことにより、扉を上下に調整できます。



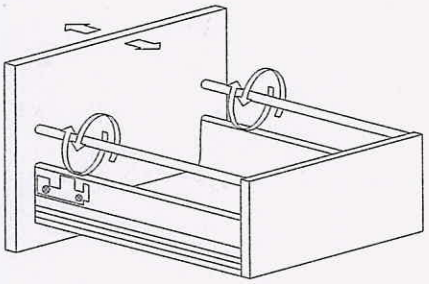
○左右調整

図の手順にしたがって左右調整ネジをまわすことにより、扉を左右に調整できます。



○傾き調整

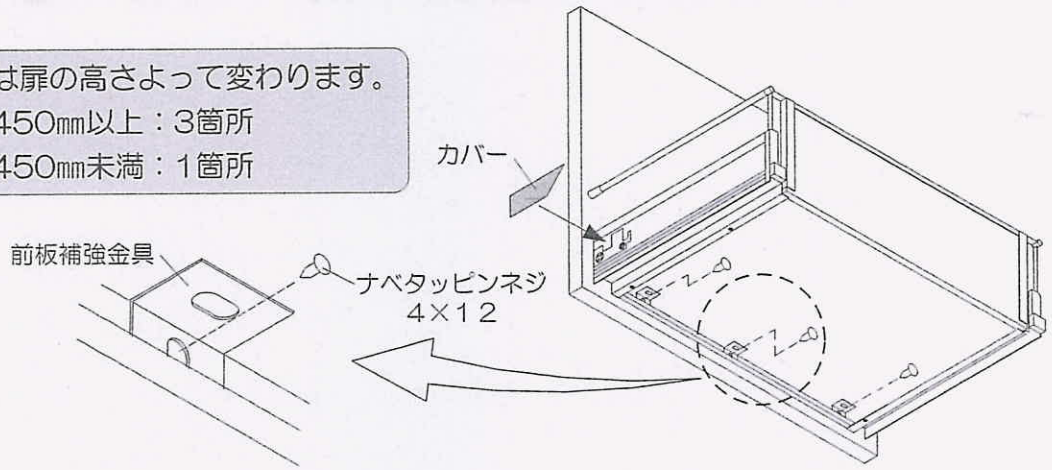
図のように両サイドのバーをまわすことにより、扉の傾きを調整できます。



○仕上げ

各調整終了後、調整ネジ部にカバーを取付け、引出裏面より前板固定金具を用いてネジで固定してください。

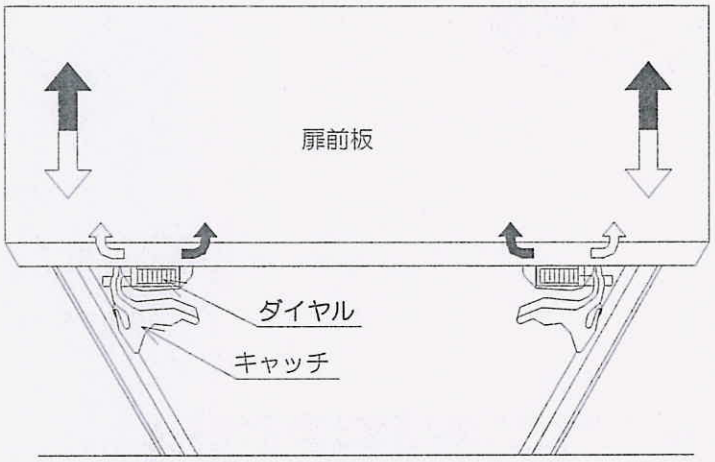
注）固定箇所は扉の高さよって変わります。
- 扉高さ450㎜以上：3箇所
- 扉高さ450㎜未満：1箇所



<Bタイプの場合>

○上下調整

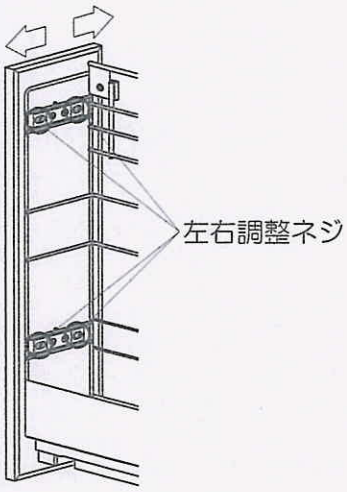
引出底面にあるキャッチのダイヤルを
回すことで引出を上下に調整できます。



【3. F-TFN15のスライド扉】

○左右調整

左右調整ネジを緩めることにより左右に動きます。
調整後、必ず左右調整ネジを締め直してください。



【4. コーナーキャビネット（スライド網カゴタイプ）のスライド扉】

キャビネットに付属の取扱説明書を参照してください。

5. 仕上げ

【1．コーキング処理】
ワークトップ周囲等、必要と思われる部分を防カビタイプのシリコンでコーキング処理してください。

【2．清掃】
ワークトップおよびキャビネットの汚れ、ゴミ等は、中性洗剤をつけた布でふきとってください。
洗剤を使用した場合は、必ず水拭き、空拭きを行い洗剤が残らないように注意してください。

6. 安全点検および試運転

【1．安全点検】

①扉の確認
扉の傾き、がたつきや丁番のゆるみがないことを確認してください。

②排水部の確認
排水トラップおよび排水パイプ接続部などに水漏れがないことを確認してください。

③給排水配管と引出の干渉確認（スライドタイプ・足元スライドタイプの場合）
引出が給排水配管、食器洗い乾燥機・浄水器等への分岐配管、シャワーホース等と接触していないか確認してください。接触している場合は、接触しないように配管等の位置を調整してください。

【2．組込機器の試運転】
キッチンに組み込まれている機器類については、機器に添付されている試運転の方法または操作手順にしたがって正常に作動することを確認してください。

7. お願い事項

【1．商品の養生】
すべての設置作業が完了しましたら、ワークトップおよびキャビネットを保護養生してください。

【2．取扱説明書の保管・引渡し】
キッチンおよび組込機器等の取扱説明書・保証書は、とりまとめてキャビネットの引出に収納してお引渡しの際、不足のないことを確認してお客様にお渡しください。
本設置説明書に関しても、次工程および保守等に必要な場合がありますので、取扱説明書と同様に保管してください。

【3．梱包材その他設置用部材の処理】
梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号
TEL 06－6962－1531

10153866
1L-2
リテラ設置説明書